

2 . 流域及び河川の自然環境

2 - 1 . 流域の自然環境

本流域は、北部を大分県と宮崎県の境に位置する祖母・傾山系、西部を熊本県と宮崎県の境に位置する九州中央山地などの大起伏山地に囲まれており、これらの山地から急峻な谷をなして流下する多くの支川を合わせながら南東方向に流下し、延岡市において平野部を形成して日向灘に注いでいる。

また、支川の源流部である流域北西部の高森町一帯は阿蘇火山群の一部となっており、世界一のカルデラを形成する外輪山が連なっている。



五ヶ瀬川流域を河川の特徴を考慮して図 2-1-1 のように上・中・下流域に区分する。

流域内には、3つの国定公園と2つの県立自然公園が指定されている。北部は祖母山(1,756m)・傾山(1,602m)・大崩山(1,643m)などの高い山々がなす祖母傾国定公園及び祖母傾県立自然公園が指定されている。一方、流域西部は熊本県との境に九州中央山地国定公園が、蘇陽町周辺は矢部周辺県立自然公園が指定され、豊かな自然環境を呈した地域となっている。下流域は平野部に住宅地及び工業地が存在し、海岸部は日豊海岸国定公園に指定された砂浜が広がっている。

五ヶ瀬川の流域には、源流部から河口域にかけての変化に富んだ自然を懐として、様々な動植物が生息している。流域内の植生としては、祖母山系などの山間部ではモミ、ツガ、ヒメコマツ、ブナ、五葉松などを交える原生林があり、渓谷や滝の切り立った河岸上の照葉樹林は渓谷美の一部を担っている。中流域ではスギやヒノキ等の人工林が主に分布している。また、本

川の下流部では川幅が広がるが、高水敷にはツルヨシ等が分布し、一部市民緑地として芝が植えられている。

このような環境の下、祖母・傾山系では国の天然記念物であるニホンカモシカをはじめ、ニホンジカやイノシシ等の大型哺乳類が生息し、下流域においても貴重種であるイタチやムササビなどの哺乳類が確認されている。

鳥類は五ヶ瀬川の河口域にカワウ、大瀬川の鷺島橋下流域のアシ原にセッカ、オオヨシキリなどを見ることができるとともに、河口域から中流域にかけてはチュウサギなど、環境庁や宮崎県などで貴重種に指定されている種の生息が多数確認されている。

海岸沿いは、県の天然記念物であり、各種の貴重種に指定されているアカウミガメの産卵地となっており、また大瀬川や五ヶ瀬川下流域ではイシガメやスッポン、トノサマガエル等の貴重種も確認されている。

魚類はアユを中心としてコイ、フナ、ボウズハゼ、ウグイ、オイカワ、カワムツ、ヨシノボリ等が生息し、上流の渓流や穏やかな流れの箇所には天然のヤマメが生息している。また、貴重種としてナマズやカマキリ（アユカケ）、イチモンジタナゴなどが下流域で確認されている。

昆虫類はツマグロキチョウやヒオドシチョウなどの貴重種が確認されているとともに、水質の良い渓流に繁殖するゲンジボタル、ヘイケボタルが生息し、北川町内ではホタル見物の名所が点在している。

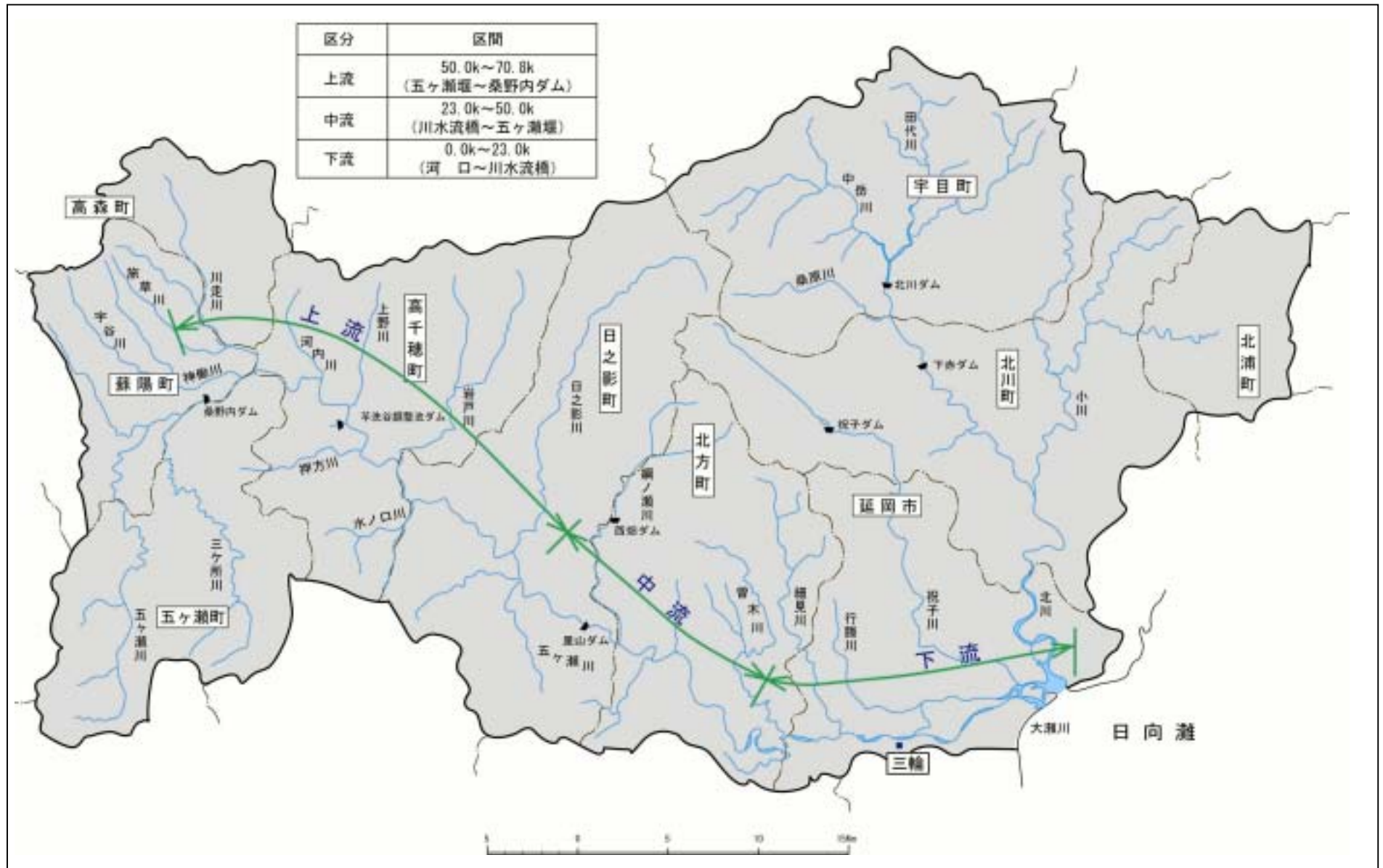


图 2-1-1 五ヶ瀬川水系区分説明図

2 - 2 . 河川の自然環境

(1) 源流域及び上流域

源流付近はスギ・ヒノキなどの山林を中心とする山峡部で、その一部の区間では巨石が点在し、自然河川の様相を呈した風景を見ることができる。

源流部の山峡を抜け、阿蘇溶岩台地を侵食して形成されたV字形の峡谷を流下する上流部は、「高千穂峡」に代表される五ヶ瀬川渓谷として、国の名勝及び天然記念物に指定されており、秋の紅葉など四季に富んだ自然環境が観光資源となっており、年間約 100 万人を超える観光客が訪れている。



白 滝 (宮崎県五ヶ瀬町)

最上流部の河川環境

五ヶ瀬川の源流をなす倉岡荒谷川の上流、海拔 900m 余りにある滝。その名の通り、まるで岩壁に白布を垂らしたように落ちており、あたりを覆う木々と相まって、一幅の日本画を見えるような趣を醸し出している。

写真：パンフレット「神話・伝説の道」(「神話・伝説の道」関係市町村連絡会議)より

蘇陽峡 (熊本県蘇陽町)

上流部の河川環境

九州のグランドキャニオンとも呼ばれ、幅 300m、深さ 150～200m もの切り立った絶壁が約 10 km にも渡って続いている。

写真：ホームページ「蘇陽町公式ホームページ - 観光情報」より

<http://www.town.soyo.kumamoto.jp/>





うのこの滝（宮崎県五ヶ瀬町）

最上流部の河川環境

五ヶ瀬川の支流である三ヶ所川にある。落差 20m、幅 10m の滝。滝つぼの大きさは直径約 100m で広さ 5000 m² もあり、樹海の中にぽっかり開いている印象を受ける。滝つぼの周辺を柱状節理の奇岩に囲まれた姿は幻想的である。

写真：ホームページ「フォレストピア」(県北フォレストピア実行委員会) より

<http://www.forestopia.gr.jp/>

五ヶ瀬川の最上流域である九州中央山地ではベッコウサンショウウオやブチサンショウウオ、オオイタサンショウウオが生息しており、絶滅が心配される地域個体群のオオダイガハラサンショウウオの生息も確認されている。

また、本川の左岸側上流域を構成する祖母山系には自然林が広がるほか、涸谷のキレンゲショウマ群落、白岩山の岩峰植物群落とクリンユキフデ群落を含む原生林など、上流域や山間部を中心に貴重な群落が多数存在している。また、高森町付近にはハナシノブやサクラソウなどの貴重種が確認されている。しかし、近年では道路整備と園芸ブームによりヒメユリやハナシノブ等が大量の盗採にあい、その個体数が激減している。そのほか、五ヶ瀬川の源流域にあたる蘇陽町内の社叢は、町の天然記念物に指定されているとともに、高千穂町ではフクジュソウやクマガイソウの自生地があるなど、上流域における植生の自然度は非常に高く、多様な貴重種が存在している。

哺乳類では祖母・傾山系において、カモシカやニホンジカ等の生息が確認されている。また、そのほかの山間地でもイノシシやテン、アナグマ等、比較的大型の哺乳類が生息している。

鳥類ではハイタカ、チョウゲンボウなどの猛禽類とともに、カワセミやセンダイムシクイなど、渓流沿いに生息する種も確認されている。

魚類では、最上流部にはヤマメやウグイが生息し、三ヶ所川と合流する地点から魚種も増えオイカワやアブラハヤ、ドンコなどが確認されている。また、広範囲にわたってアユが生息している。なお、上流域でイワナが確認された例があるが、これは天然ではなく放流か養魚場からの逃逸によるものと思われる。

上流域から山間部にかけては、特に昆虫類の宝庫となっており、北部から西部の山岳地帯で、指標種であるオオムラサキやハルゼミなど多数の種が確認されている。

ニホンカモシカ

(国の天然記念物)

日本と台湾だけに分布し、そのうち日本産の物はニッポンカモシカと呼ばれている。本州、四国、九州の山岳地帯に生息する日本固有の種。五ヶ瀬川流域内では祖母傾山系に生息する。偶蹄目ウシ科ヤギ亜科の動物であり、その中で最も型が古く、氷河期を生き抜いた原始的な種で『生きた化石』と呼ばれ分類学上貴重な種である。また、急な岩場に立つその姿から『山の哲学者』とも呼ばれている。



写真：日之影町教育委員会より

ベッコウサンショウウオ（準絶滅危惧）

阿蘇山と霧島山にはさまれた標高 500 ~ 1500m の九州中央山地に分布し、常緑広葉樹林の溪流付近の深い谷や、沢に見られる。体長は 130 ~ 180 mm。日本産サンショウウオ類の中で、もっとも美しい種類といわれ、体背面は光沢のあるベッコウ色をしている。幼生は、流水性型で黒く鋭い爪をもっている。写真：「河川水辺の国勢調査」より



ヤマメ

一般に、サクラマスの子魚と河川に残留する個体を一括してヤマメと呼んでいる。五ヶ瀬町では波掃川の清流を引き入れた大規模な養魚池や人工孵化場があり、「やまめの里」として親しまれている。

写真：「河川水辺の国勢調査」より

(2) 中流域

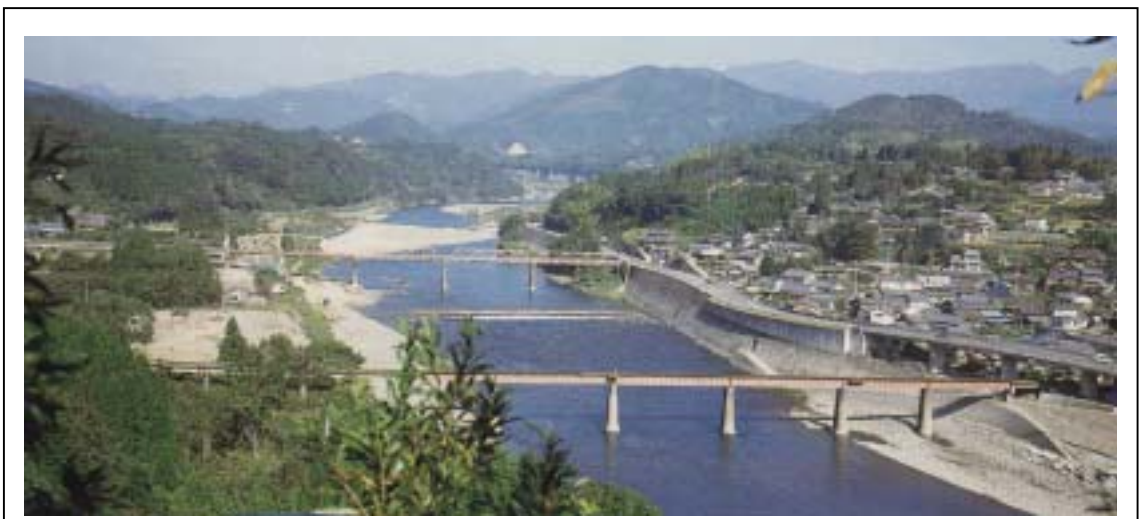


五ヶ瀬川中流部（北方町）

写真：パンフレット「雲海に架かる橋紀行 - 五ヶ瀬川上流を訪ねて」(宮崎県西臼杵支庁)より

日之影町から北方町の南半部よりなる中流域は、多数の支川を合わせつつ急峻な渓谷を一気に流下してきた本川が、やや傾斜の緩やかになった谷間を川幅を拡げつつ下流域へ向かう区間である。河岸は高水敷のない単断面で、その一部では礫と岩等が混在し、大きな瀬や淵を有している等、自然河川の様相を示している。また、これらの瀬や淵は魚類の良好な生息地となっており、釣り場としても人気が高い。

また、北方町川水流付近の「鮎やな」は、五ヶ瀬川架けられる3つのやなのうち最も上流に架かるやなであり、日本一大きな鮎が落ち所として有名である。



川水流の鮎やな

写真：パンフレット「北方見聞」(北方町企画開発課)より

この区間では、河床勾配は緩やかになりつつも河畔付近まで山々が迫っており、針葉樹、照葉樹が生い茂る山間地は多数の動植物の生息地となっている。支川・綱ノ瀬川の源流域である鬼の目山には、世界中でここにしか自生していないツチビノキが生育するなど、植物層も豊富である。

河川にはアユをはじめ、県の貴重種に指定されているカマキリやナマズが確認されているとともにウグイ、カワアナゴ等の魚類が生息し、それらの魚類を捕食するアオサギやオシドリなどのサギ類・カモ類等多数の鳥類が生息している。

昆虫類では、河川沿いでオオムラサキなどの貴重種が確認されているとともに、北部の祖母傾国定公園にむかって延びる支川沿いにはアカシジミなどの蝶類が多数生息している。



カマキリ（アユカケ）

（宮崎県：準絶滅危惧）

日本固有種。全長 150～200 mm。体色は灰褐色で、「石化け」と呼ばれる擬態を行う。稚魚は水生昆虫を主食とするが、成魚は主に魚を食べる。春秋にはアユを食べることから「アユカケ」と呼ばれる。生息環境としては石礫底を好む。

写真：「河川水辺の国勢調査」より

アオサギ

大きい川や湖沼、水田、海岸の干潟、入り江など砂泥のおおい水べりに生息する。河川区域内のヤナギ林や竹林等はサギ類の集団繁殖地やねぐらとなっていることが多い。待ち伏せたり、歩いたりして、魚を捕らえる。昆虫、両生類、甲殻類、ねずみなどの小動物も食べる。餌を見つけると頸（くび）を伸ばして、嘴ではさみとったり、突き刺したりして捕らえる。

写真：「河川水辺の国勢調査」より



オオムラサキ（準絶滅危惧）

日本を代表する蝶として、日本昆虫学会が1957年総会にて国蝶に指定。日本に棲息するタテハチョウの中では最大で、オスの翅表は青紫色に輝き大変美しく、メスは青紫色には輝かないが、一般にオスより一回り大きい。裏面の地色は銀白色のものと黄色のものがあって、西に行くほど銀白色のものが多くなる傾向にある。近年、里山の雑木林が開発により減少し、なかなかその姿を見ることが出来なくなってきた。

写真：「河川水辺の国勢調査」より



(3) 下流部



五ヶ瀬川下流部（延岡市 河口部より上流を望む）

写真：パンフレット「2000COMMUNE WITH NATURE 延岡」(延岡工事事務所)より

北方町と延岡市の市町境付近から下流域に入る五ヶ瀬川は、岩熊井堰以降流れが穏やかに中洲や河原を形成している。延岡市中部の吉野町付近で五ヶ瀬川は大瀬川と分流し、その水量は大瀬川のほうが豊富になる。そして河口付近で再び合流し、さらに河口より2キロの地点で祝子川を、河口域で北川を合流して日向灘へ注ぐという複雑な流下形態となっている。そのため、河口付近には小規模ながら段丘や三角州、沖積低地を形成しており、海岸には砂丘や砂州が広がっている。

五ヶ瀬川と大瀬川が分流している延岡市役所付近の高水敷は、駐車場または市民広場として利用されている。また、河口部は河口閉塞が発生しており、特に大瀬川は冬季の閉塞が著しい。



大瀬川（延岡市）

写真：延岡河川国道事務所

下流部の河川敷には、ヨシヤマコモ群落、ヒメガマ群落などが大きな面積を占める。一部では、オグラコウホネ群落やヒシ、エビモ、セキシヨウモ、フサモなどの浮葉沈水植物群落の水質や水流の条件に応じて生育している。河口域ではコアマモ群落が見られる。また、多くの河川が流れ込んでいることと、海岸線が複雑に入り込んでいることから塩沼地が随所に見られ、ここではシバナ、ハマサジ、ハマゼリ、ウラギク、シオクグ・ナガミノオニシバ等の、塩沼地にしか見られない特殊な植物が多く自生している。河川沿いには、環境庁のレッドデータブックで絶滅危惧 類に指定されているタコノアシやミゾコウジュ、ハマボウなどが生育している。

哺乳類は、可愛岳・行藤山にカモシカが生息しているほか、河川敷にはノウサギやアカネズミ、カヤネズミなどの小型哺乳類から、タヌキやテンなどの大型哺乳類などが生息している。

五ヶ瀬川下流域から河口にかけては鳥類の宝庫となっており、特に河口域ではサギ類やカモ類のコロニーが存在しているとともに、大瀬川の中洲にあるアシ原はツバメやムクドリの時となっている。また、ミサゴやハチクマ、ハヤブサ、クマタカなどの猛禽類も、河口付近や行藤山などで観察することができる。

は虫類は、宮崎県の天然記念物であり、環境庁のレッドデータブックで絶滅危惧 類に指定されているアカウミガメが、毎年方財海岸・長浜海岸及び新浜海岸で上陸産卵していることが確認されている。五ヶ瀬川水系では、環境庁のレッドデータブックで情報不足とされているスッポンのほか、ニホンイシガメ・クサガメが生息している。しかし、ペットで飼育されていたミシシippアカミガメが、放逐により五ヶ瀬川水系に生息していることが明らかにされており、在来3種への影響が懸念されている。

魚類では、アユをはじめボウズハゼやカマキリ（アユカケ）、ウグイなどが生息しており、河口域より岩熊井堰までスズキが遡上してくることもある。「延岡市環境基本計画」によると、五ヶ瀬川水系のアユは資源枯渇の段階にあると判断され、漁獲強度の大きいアユ漁を持続させるためには、きめの細かい資源管理が必要であるとされている。貴重種としては、環境庁のレッドデータブックで絶滅危惧 A類に指定されているメダカやキセルハゼ、及び準絶滅危惧のアカメ、シロウオが確認されている。また、外来種としてオオクチバス（ブラックバス）やブルーギルの繁殖も確認されている。

昆虫類では、生きた化石といわれるムカシトンボが桧山、行藤山系の清流に生息しており、ムカシヤンマも局所的ではあるが確認されている。また、カラスシジミ、シータテハ、ヒオドシチョウ、コムラサキ、サカハチチョウなど、河畔に生えるハルニレ、エノキ及びヤナギ類等との結びつきが強い種の生息も確認されている。

（４）北川下流域

河口から川島地区までの区間には川沿いに住宅地が見られるが、それより上流では主に耕作地として利用されるほか、山付き区間が多く見られ、カワセミやヤマセミが留まる姿が良く確認されている。河原にはツルヨシやジャヤナギ、エノキ等の植物群落が見られ、一部には古来から水防林として植栽されていた竹林も見られる。河口部では、稀少甲殻類であるカワスナガニが生息、加えて塩生湿地では、貴重な植物であるシバナ、ハマナツメ、コアマモ、ハマボウ、サンカクイなどが生育しており、ヨシ群落はオオヨシキリ等の鳥類の、コアマモ群落は稀少魚類であるアカメの幼魚の生息場となる等、動物の生息場としても貴重な空間となっている。



ハマボウ（県：準絶滅危惧）

塩水の影響を受けそうな、河口の河岸や州に見られる低木。日本の野生ハイビスカス、黄色い大型の花をつける。延岡市方財町に群落がある。

写真：「延岡市公式ホームページ」
<http://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/>より

タコノアシ（絶滅危惧 類）

沼、河原、水田跡などの湿地に生える多年草。茎は直立し、高さ30～85センチ。無毛で通常淡紅色を帯びる。開花は8～9月、秋になると茹で蛸のように赤く色づく。葉は互生し狭披針形。茎の先や葉のわきから花序の枝を数本分け、片側に黄白色の小さな花が多数つく。和名は花がついた花序がタコの足のように見えることによる。



写真：「河川水辺の国勢調査」より



カヤネズミ

晩春から初冬にかけては草地、河川敷、堤防などでスキヤチガヤなどイネ科植物が優先する水気の有るところに生息する。冬は地表の堆積物や地下に掘った坑道で過ごす。近年は河川整備などの影響で生息域が狭められ、生息数も減少してきている。

写真：「河川水辺の国勢調査」より

スッポン（情報不足）

河川やため池に生息しているが、記録はあまり多くない。環境庁のレッドデータブックでは情報不足の為、生息状況が不明の種とされている。甲羅は柔らかく、頭部も特徴的。砂底に潜るのを好む。肉食性で、魚や甲殻類、貝類などを補食する。

写真：「河川水辺の国勢調査」より





チュウサギ（準絶滅危惧）

夏鳥であるが留鳥として年間を通じて見られる個体もいる。コサギ(60cm)より一回り大きく、ダイサギよりは小さい。また、食性も違っていてダイサギやコサギは、池や河川で魚を主食としていることに対してチュウサギは、カエルや昆虫を主食とし、水田や農耕地に多い。五ヶ瀬川及び北川下流域で確認されている。

写真：「河川水辺の国勢調査」より

アカメ（準絶滅危惧）

稚魚～成魚までが大量に確認されているのは宮崎県と高知県。体長は1mを越す場合もある。主に沿岸域に生息するが、幼漁期には河口の葦の中などで隠れていることが多い。また、河口には夏の時期に多く現れる。宮崎では50cm以上のアカメを「マルカ」と呼ぶ。

写真：「河川水辺の国勢調査」より



ムカシトンボ

生きた化石といわれ、世界的に有名な日本特産種のトンボ。腹長は36～40mm。成熟成虫は、おもに山地溪流で見られるが、環境変化に敏感で、砂防工事などにより土砂が流れ込んだりすると見られなくなる。成虫は4月下旬頃より羽化し、5月上・中旬を中心に生殖期を迎える。山間部ではこれより遅れる。

写真：「河川水辺の国勢調査」より



(5) 五ヶ瀬川生物

各種資料をもとに、五ヶ瀬川沿いの各生物相についての概要を整理し、表 2-2-0 に示す。

表 2-2-0 各生物相の概要

調査項目	生物相の概要
植物	<ul style="list-style-type: none"> 上流部から中流部にかけてスギ・ヒノキ等の人工林を中心に、河川沿いにはシイ・カシ萌芽林が生育している。最上流部においては、自然林が点在している。 左岸上流部の祖母傾山系はシラキ・ブナ群集やアケボノツツジ等、自然度の高い植生が多くなっている。 中流域では本川沿いにツルヨシ等の群落が生育し、支川上流域では鬼の目山のツチビノキを始めとする自然林が生育するなど、豊富な植物層を呈している。 下流域の河川敷にはツルヨシ群落、マコモ群落等が多く、一部ではオグラコウホネ群落等の浮葉沈水植物群落が生育している。また、河川沿いにはタコノアシやミゾコウジュ、ハマボウ等が生育している。 河口域ではコアマモ群落やハマボウ群落が生育しているとともに、随所に見られる塩沼地では、シバナやハマサジ、ハマゼリ、ウラギク等の特殊な植物が自生している。 支川の祝子川流域では上流部ほど自然度が高く、モミジガラマツ等の北方系植物やアケボノツツジ、ヒカゲツツジ等が生育している。また、上流の河川沿いには国の天然記念物であるモウソウキンメイチクが自生している。 支川北川の上流部ではアカマツ・オンツツジ群集やコジイ群集等が分布している。また、中流域から下流域にかけては、二次林や人工林が多くなっているが、北川町の家田周辺の湿地植物群落は保全すべき対象として環境庁や県により指定されている。下流域の河川沿いではススキ群団が多く見られる。
哺乳類	<ul style="list-style-type: none"> 左岸上流部の祖母傾山系では、国の天然記念物であるカモシカを始め、イノシシやニホンジカ、テン、アナグマ等、大型の哺乳類が生息している。 下流域の河川敷にはノウサギやカヤネズミ等の小型哺乳類とタヌキやテン等の大型哺乳類が生息している。
両生類 爬虫類	<ul style="list-style-type: none"> 最上流部の九州中央山地では、ベッコウサンショウウオやブチサンショウウオ、オオイタサンショウウオ、オオダイガハラサンショウウオの生育が確認されている。 五ヶ瀬川水系内には、ニホンイシガメやクサガメ、スッポンが生育している。 毎年、方財海岸・長浜海岸及び新浜海岸で、アカウミガメが上陸産卵している。 祝子川の上流域や北川の源流域である祖母傾山系では、ブチサンショウウオやオオサンショウウオ、オオイタサンショウウオ、オオダイガハラサンショウウオ、カナヘビ、トノサマガエル等の貴重種が多数確認されている。
鳥類	<ul style="list-style-type: none"> 上流域ではカワセミやセンダイムシクイ等、渓流沿いに生育する種が確認されている。 中流域から河口域ではサギ類やカモ類が多数生息し、コロニーが存在している。下流の大瀬川の中洲にあるアシ原はツバメやムクドリ等の巣となっている。また、河口付近や行藤山等で、ミサゴやハチクマ等の猛禽類が観察されている。 祝子川では渓流を代表する種であるカワガラスが、中～上流域で確認されている。 北川の河川沿いではオオルリやキビタキ、サンコウチョウが生息しており、下流域ではハイタカ等の猛禽類が確認されている。
魚類	<ul style="list-style-type: none"> アユは河川のほぼ全域で確認されており、五ヶ瀬川を代表する魚種となっている。 最上流部ではヤマメが生息している。 上～中流にかけては県の貴重種に指定されているカマキリ（アユカケ）をはじめ、オイカワやウグイ、アブラハヤ、ナマズ、カワアナゴ等が生息している。 下流域ではボウズハゼやカマキリ（アユカケ）が生息しているとともに、メダカや、イチモンジタナゴ等が確認されており、河口付近ではアカメが生息している。また、外来種として、オオクチバス（ブラックバス）やブルーギルの繁殖も確認されている。 祝子川ではヤマメやニジマスが生息しているが、祝子ダムでは外来種であるオオクチバスが確認されている。 北川ではヤマメや放流によるコイ、カマキリ（アユカケ）、タカハヤ等の生育が確認されている。
底生動物	<ul style="list-style-type: none"> 北川上流域の宇目町では、貝類の特定種が多数確認されている 五ヶ瀬川の中流から下流域ではモズクガニやモノアラガイ等が生息している。 五ヶ瀬川、祝子川、北川の感潮域ではカワスナガニが生息している。
昆虫類	<ul style="list-style-type: none"> 上流域から山間部ではオオムラサキやハルゼミ等の多数の種が生息している。また、上流（高千穂町）ではタガメが確認されている。 中流域の祖母傾国定に向かう支川沿いには、ヒオドシチョウやアカシジミ等の蝶類が多数生息している。 北川中流域の北川町ではゲンジボタルやヘイケボタル等ホタル類の繁殖地となっている。 下流域では行藤山系の清流等にムカシトンボやムカシヤンマが確認されている。また、河畔に生育するハルニレ、エノキ等と結びつきが強いヒオドシチョウ等の蝶類も多数生息している。 祝子川流域ではオオムラサキやシートテハ等の蝶類とともに、ヤセオオヒラタカメムシ等の貴重な甲虫類も確認されている。

以上の生物相についての詳細を各流域ごとに整理し、以下に記載する。

また、五ヶ瀬川の自然環境を把握するために、各種文献等のデータを踏まえ五ヶ瀬川に生息する特定種についてとりまとめた。

特定種：国・県・市町指定による天然記念物

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（別名：種の保存法）

環境庁 レッドリスト

環境庁 レッドデータブック

宮崎県版 レッドデータブック

熊本県版 レッドデータブック

大分県版 レッドデータブック

水産庁 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック

環境庁 自然環境保全基礎調査

環境庁 日本の重要湿地 500

上記の資料の掲載種及び、貴重または保護すべき種として指定されている種

表 2-2-1(1) 特定種カテゴリーの説明

分類	内容
天	「文化財保護法」により保護等の対象として指定されている種
種	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（通称：種の保存法）」で指定されている種
環	<p>「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト（環境庁編）」及び「日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - （環境庁編）」の指定種</p> <p>CR：絶滅危惧 A類 （Critically Endangered：ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種）</p> <p>EN：絶滅危惧 B類 （Endangered：IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種）</p> <p>VU：絶滅危惧 類 （Vulnerable：絶滅の危機が増大している種）</p> <p>NT：準絶滅危惧 （Near Threatened：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）</p> <p>DD：情報不足 （Data Deficient：評価するだけの情報が不足している種）</p> <p>LP：絶滅のおそれのある地域個体群 （Threatened Local Population：地域的に孤立しており地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群）</p>
群落	<p>「植物群落 レッドデータブック〔（財）日本自然保護協会、（財）世界自然保護基金日本委員会〕」の指定種</p> <p>ランク 4：緊急に対策必要 緊急に対策を講じなければ、群落が壊滅する</p> <p>ランク 3：対策必要 対策を講じなければ、群落の状態が徐々に悪化する</p> <p>ランク 2：破壊の危惧 現在の保護対策は良いが、対策を講じなければ、将来破壊されるおそれ大きい</p> <p>ランク 1：要注意 当面、新たな保護対策は必要ない</p>
県	<p>「宮崎県版レッドデータブック 宮崎の保護上重要な野生生物（2000年、宮崎県環境科学協会）」指定種</p> <p>CR-r：絶滅危惧 A類 （Critically Endangered-rare：県内ではもともと希であったものが、原則として、現在は1～2ヶ所でのみ生息し、個体数も極めて少ない状態で残っているもの）</p> <p>EN-r：絶滅危惧 B類 （Endangered-rare：県内ではもともと希であったものが、原則として、現在は2～4ヶ所でのみ生息し、個体数もかなり少ない状態で残っているもの）</p> <p>VU-r：絶滅危惧 類 （Vulnerable-rare：県内ではもともと希であったものが、原則として、現在は5ヶ所以下で生息し、個体数が少ないもの）</p> <p>VU-g：絶滅危惧 類 （Vulnerable-general：県内では過去に広く分布、あるいは個体数が多かったと考えられるものが、原則として10ヶ所以下で生育するか、あるいは個体数がほぼ5分の4以下に減少しているもの。今後とも大幅に分布が狭まったり、さらに個体数の減少が予想されるもの。）</p> <p>NT-r：準絶滅危惧 （Near Threatened-rare：県内ではもともと希であったものが、分布域の一部において個体数が顕著に減少しているもの）</p> <p>NT-g：準絶滅危惧 （Near Threatened-general：県内では過去に広く分布、あるいは個体数が多かったと考えられるものが、分布の一部において、生息条件の悪化により絶滅したか、もしくは生育面積の減少や個体数の顕著な減少がみられるもの）</p> <p>DD-1： 県内における証拠標本や、信頼のおける記録があり、かつて生息していたと思われるが、現存するかどうか判断できないもので、絶滅の可能性の考えられるもの。確認されれば「絶滅危惧 A類」に位置付けられる可能性の高いもの</p> <p>DD-2： 県内では、現在明らかに生息しているが、評価するだけの情報が不足しているもの</p>

表 2-2-2(2) 特定種カテゴリーの説明

分類	内容				
水	<p>「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック(2000年3月、水産庁)」の指定種</p> <p>絶滅危惧：絶滅の危機に瀕している種・亜種（環境庁カテゴリーに準ずる）</p> <p>危急種：絶滅の危険が増大している種・亜種（環境庁カテゴリーに準ずる）</p> <p>希少種：存続基盤が脆弱な種・亜種（環境庁カテゴリーに準ずる）</p> <p>減少種：明らかに減少しているもの</p> <p>減少傾向：長期的にみて減少しつつあるもの</p> <p>普通：自然変動の範囲にあるもの</p> <p>地域個体群：保護に留意すべき地域個体（環境庁カテゴリーに準ずる）</p>				
自	<p>「第2回自然環境保全基礎調査 宮崎県・熊本県・大分県 自然環境情報図（環境庁 1981）」</p> <p>「第3回自然環境保全基礎調査 宮崎県自然環境情報図（環境庁 1989）」</p> <p>「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 九州版」</p> <table border="1" data-bbox="344 775 1520 1485"> <tr> <td data-bbox="344 775 400 1155">植物群落</td> <td data-bbox="400 775 1520 1155"> <p>A：原生林もしくはそれに近い自然林</p> <p>B：国内若干地域に分布するが、極めてまれな植物群落 または個体群</p> <p>C：比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等、分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群</p> <p>D：砂丘、断崖、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群</p> <p>E：郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの</p> <p>F：過去に置いて人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採の手が入っていない</p> <p>G：乱獲その他の人為的な影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または</p> <p>H：その他、学術上重要な植物群落または個体群</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="344 1155 400 1485">昆虫</td> <td data-bbox="400 1155 1520 1485"> <p>A：日本国内ではそこしか産しないとされる種</p> <p>B：分布域が国内若干の地域に限定されている種</p> <p>C：普通種であっても、北限・南限など分布限界になるとされる産地に分布する種</p> <p>D：当該地域において絶滅の危機に瀕している種</p> <p>E：近年当該地域において絶滅したと考えられる種</p> <p>F：業者あるいはマニアなどの乱獲により、当該地域での個体数の著しい減少が心配される種</p> <p>G：環境指標として適当であるとされる種</p> <p>指：指標種</p> </td> </tr> </table>	植物群落	<p>A：原生林もしくはそれに近い自然林</p> <p>B：国内若干地域に分布するが、極めてまれな植物群落 または個体群</p> <p>C：比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等、分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群</p> <p>D：砂丘、断崖、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群</p> <p>E：郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの</p> <p>F：過去に置いて人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採の手が入っていない</p> <p>G：乱獲その他の人為的な影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または</p> <p>H：その他、学術上重要な植物群落または個体群</p>	昆虫	<p>A：日本国内ではそこしか産しないとされる種</p> <p>B：分布域が国内若干の地域に限定されている種</p> <p>C：普通種であっても、北限・南限など分布限界になるとされる産地に分布する種</p> <p>D：当該地域において絶滅の危機に瀕している種</p> <p>E：近年当該地域において絶滅したと考えられる種</p> <p>F：業者あるいはマニアなどの乱獲により、当該地域での個体数の著しい減少が心配される種</p> <p>G：環境指標として適当であるとされる種</p> <p>指：指標種</p>
植物群落	<p>A：原生林もしくはそれに近い自然林</p> <p>B：国内若干地域に分布するが、極めてまれな植物群落 または個体群</p> <p>C：比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等、分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群</p> <p>D：砂丘、断崖、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群</p> <p>E：郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの</p> <p>F：過去に置いて人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採の手が入っていない</p> <p>G：乱獲その他の人為的な影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または</p> <p>H：その他、学術上重要な植物群落または個体群</p>				
昆虫	<p>A：日本国内ではそこしか産しないとされる種</p> <p>B：分布域が国内若干の地域に限定されている種</p> <p>C：普通種であっても、北限・南限など分布限界になるとされる産地に分布する種</p> <p>D：当該地域において絶滅の危機に瀕している種</p> <p>E：近年当該地域において絶滅したと考えられる種</p> <p>F：業者あるいはマニアなどの乱獲により、当該地域での個体数の著しい減少が心配される種</p> <p>G：環境指標として適当であるとされる種</p> <p>指：指標種</p>				
湿	<p>日本の重要湿地 500（環境省「インターネット自然研究所」ホームページより）</p> <p>選定基準1：湿原・塩性湿地、河川・湖沼、干潟、マングローブ林、藻場、サンゴ礁のうち、生物の育成・生育地として典型的又は相当の規模の面積を有している場合</p> <p>選定基準2：希少種、固有種等が生息している場合</p> <p>選定基準3：多様な生物相を有している場合</p> <p>選定基準4：特定の種の個体群のうち、相当数の割合の個体数が生息する場合</p> <p>選定基準5：生物の生活史の中で不可欠な地域（採餌場、産卵場等）である場合</p>				
巨	<p>「第4回自然観巨歩全基礎調査」日本の巨樹・巨木林（環境庁 1991）</p>				
延	<p>延岡市環境基本計画 自然環境補足調査（2001年12月 延岡市）</p> <p>A：「生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全」の上から、極めて危機的レベルのたかいもの</p> <p>B：「生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全」の上から、極めて危機的レベルに瀕しているもの</p> <p>C：「生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全」の上から、危機のおそれのあるもの</p>				

1) 五ヶ瀬川に生育する重要な植物種

五ヶ瀬川に生育する重要な植物群落及び植物は、次表の特定種一覧表に示すとおりである。特定種は植物群落で10種、植物種で62種確認されている。なお、表中の資料番号は、後掲の表2-2-11を参照されたい。

表2-2-3(1) 五ヶ瀬川で確認された植物群落の特定種一覧表

種名	貴重種区分							所在地	資料番号	備考
	天	環	群落	県	自	湿	延			
家田周辺の湿地植物群落 (水草等)				A		基準 2		北川町 家田・川板湿原	1,4	・希少種・固有種 の水生植物が多 く、新種も発見さ れている ・宮崎県RDBで整 合的的植物群落状 況評価:Aを受けて いる(Aランク:生 物の多様性の確 保及び自然環境 の体系的保全の 上から、極めて危 機レベルが高い)
祝子川源流域の原生地					A・B C			祝子川源流域	6	
サンゴ、海草、海藻						基準 1,2,3		延岡市 延岡島浦 北浦町 島浦島 - 阿 蘇	1	希少種を含む アマモ、ウミヒメ、ワカ メ、ヒメシマウメ、 オハクサなど。ワカ 場、テングサ場
方財町のハマボウ林 (ハマボウ群落)			4	NT-g			A	延岡市方財町	3,13,2 9	単一群落A
鬼の目山のツチピノキ 自生地		VU	2		B			北方町 細身川源流 域	6,29	
祖母、傾山系の自然林					A・D			祖母傾山系	6,22	
ミヤマゼキショウなど洞 岳石灰岩峰植物群落			3		B・D・ H			日之影町 日之影川 上流域	6,29	
澗谷のキレンゲショウマ 群落			2		H			五ヶ瀬町 五ヶ瀬川 源流域	6,29	
白岩山の岩峰植物群落 とクリンユキフデ群落を 含む原生林	宮崎県			CR-r	A・B D・H			五ヶ瀬町 五ヶ瀬川 源流域	6,8	444種の高山植 物
新百姓山周辺の天然ヒ ノキ自生地群落			4	CR-r	B・G			日之影町 新百姓山 北西部	13,29	
鬼の目山の天然スギ自 生地群落				CR-r	A・B・ C			北方町 鬼の目山～ 国見山～だき山の 北西側斜面	13	
行藤山の岩壁植生					B・D			延岡市 行藤山の雄 岳・雌岳の岩壁	13	歩道・木道、案内 板(解説版)等、利 用者のための措 置がなされている。

表 2-2-3(2) 五ヶ瀬川で確認された植物群落の特定種一覧表

種名	貴重種区分							所在地	資料番号	備考
	天	環	群落	県	自	湿	延			
行藤山のイチイガシ林					A・B・E			延岡市 行藤町行藤神社の社叢林	13	歩道・木道、案内板(解説版)等、利用者のための措置がなされている。
延岡のオオバネム群落			2		B・C			延岡市 南部沿海地	13,29	
楠原神社のカシ林					A・B・E			日之影町 楠原	13	
戸川岳の石灰岩植生域			2		D			日之影町 戸川岳	13,29	
高千穂神社のカシ林					A・B・E			高千穂町 高千穂神社	13	歩道・木道、案内板(解説版)等、利用者のための措置がなされている。
二上山のケヤキ林					A・B・H			高千穂町 二上山	13	歩道・木道、案内板(解説版)等、利用者のための措置がなされている。
矢筈岳・比叡山の岩角地植生域					D			日之影町・北方町 矢筈岳・比叡山の急崖地上	13	歩道・木道、案内板(解説版)等、利用者のための措置がなされている。
鬼の目山山塊の夏緑広葉樹林					A・B			北方町 上鹿川の鬼の目山～国見岳～だき山	13	
北方町大山神社のカシ林					A・B・E			北方町 大山神社社叢林	13	
宇目町などのツチトリモチを含むコジイ林(自然林)			3		E			宇目町 切込・北川ダム流域等	13,22,29	
鷹烏屋社のアカガシ林(自然林)	大分県				A			宇目町 鷹烏屋社の境内とその周囲の国有林の一部	8,13,22	
夏木山一帯の自然林			3		A			祖母傾山系の宇目町側の稜線部	13,22,29	
長浜海岸・新浜海岸の海岸砂丘植物							A	延岡市新浜町他	13	群落複合A
友内川河口のシバナ(シバナ群落)			3				A	延岡市大武町、二ツ島町	13,29	単一群落A
沖田川のハマボウ・ハマナツメ林							A	延岡市石田町・塩浜町・新浜町・旭ヶ丘	13	単一群落A
行藤山の岸壁植生							B	延岡市行藤町(行藤山)	13	群落複合B
赤水のウバメガシ林			2				B	延岡市赤水町	13,29	単一群落B

表 2-2-3(3) 五ヶ瀬川で確認された植物群落の特定種一覧表

種名	貴重種区分							所在地	資料番号	備考
	天	環	群落	県	自	湿	延			
赤水神社のスダジイ林							B	延岡市赤水町	13	群落複合B
行藤山のイチイガシ林							B	延岡市行藤町(行藤山)	13	群落複合B
熊野江の塩沼地植物群落							A	延岡市熊野江町	13	単一群落A
北川河口のコアマモ群落							A	延岡市二ツ島・白石町・東海町・大武町	13	複合群落A
フクジュソウ自生地	宮崎県	VU		CR-r				高千穂町 向山	8	
祝子川のモウソウキンメイチク林	国							北川町 祝子川上流	8	
クマガイソウ自生地	高千穂							高千穂町 押方	8	
幣立神宮の森	蘇陽							蘇陽町 大野	8	
仁瀬本神社の森	蘇陽							蘇陽町 二瀬本	8	
年称神社の森	蘇陽							蘇陽町 高畑	8	
早檜神社の森	蘇陽							蘇陽町 高辻	8	
阿蘇・山東原野の山地草原					C・E			高森町・蘇陽町一帯	23	
ツガ群落			3					宇目町	29	
ヒメコマツ群落			3					宇目町	29	
シオジ群落(シオジ・ミヤマクマワラビ群集)			3					宇目町	29	
ブナ群落(ブナ・スズクエ群集)			3					宇目町	29	
イチイガシ群落			2					延岡市	29	
スダジイ群落			2					延岡市	29	
アカマツ群落			3					日之影町	29	
アケボノツツジ・ツガ群集			3					高千穂町・日之影町	29	

表 2-2-3(4) 五ヶ瀬川で確認された植物群落の特定種一覧表

種名	貴重種区分							所在地	資料番号	備考
	天	環	群落	県	自	湿	延			
サワグルミ群落			3					高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町	29	
タブノキ群落			2					高千穂町	29	
ケヤキ群落			2					高千穂町	29	
シラキ・ブナ群集			3					高千穂町・日之影町、五ヶ瀬町	29	
ミズナラ群落			3					日之影町	29	
イブキシモツケ・イワキンバイ群落			3					日之影町	29	
ツクシドウダンツツジ群落			3					高千穂町・日之影町	29	
ナガミノオニシバ群落			3					延岡市	29	
ハママツナ・ハマサジ群落			3					延岡市	29	
イチョウシダ群落			3					日之影町	29	
イワギク群落			3					日之影町	29	
クモノスダ群落			3					日之影町	29	
祖母・傾山系の温帯性夏緑広葉樹林域群落			4					高千穂町・日之影町	29	
石灰岩峰植物群落			2					五ヶ瀬町	29	
白岩山の温帯性夏緑広葉樹林域群落			4					五ヶ瀬町	29	
植生帯移行部植生			2					北方町、五ヶ瀬町	29	
温帯性夏緑広葉樹林域群落			2					北方町	29	
岩上岩隙植物群落			2					延岡市	29	
岩上・岩隙草本植物群落			2					日之影町	29	

表 2-2-4(1) 五ヶ瀬川で確認された植物の特定種一覧表

種名						確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	巨			
アオツリバナ			VU	CR-r		延岡市、北方町、北川町	7	北限 九州本土で宮崎のみ
アスナロ						北方町 二股桑水流	8	巨樹として町文化財資料に記載
イズハハコ			VU			北川上流域	4	
イセウキヤガラ				NT-r		延岡市	15	
イチョウ						高森町 矢津田	14,26	
イチョウ	国					高千穂町 河内 熊野鳴瀧神社	8,24	呼称: 田原のイチョウ
イチョウ	国					高千穂町 下野八幡宮	8,24	呼称: 下野八幡神社のイチョウ
イチョウ	高千穂					高千穂町 岩戸	8	呼称: 古代イチョウ
イチョウ	蘇陽					蘇陽町 上差尾	8	呼称: 東福寺の銀杏
イチョウ	蘇陽					蘇陽町 橘	8	呼称: 栴山阿蘇神社の銀杏
イチョウ						宇目町 柳瀬地藏	25	
イトモ			VU	EN-r		低地の河川、湖沼	2	
イヌノフグリ			VU	CR-g		宇目町、日之影町、蘇陽町、高森町、高千穂町	7	
イヌマキ						北方町 上崎 上崎神社(2本)	8	巨樹として町文化財資料に記載
ウシクグ				NT-g		五ヶ瀬川・大瀬川分流地点、五ヶ瀬川中流域	3,9	
ウスバヒョウタンボク			VU			蘇陽町、高森町	7	
ウバタケニンジン			EN	VU-g		宇目町、北川町、高千穂町、日之影町、北川上流域、小川	4,7	準固有、南限
ウマノスズクサ				NT-g		五ヶ瀬川・大瀬川分流地点	3	
ウラギク			VU	CR-r		延岡市、北浦町	3,7,15	
ウラギク			VU	CR-r		北川下流域	4	
オオウバタケニンジン			CR	CR-r		延岡市	15	
オオバネムノキ			EN	EN-r		延岡市	15	日本で宮崎のみ、北限
オグラコウホネ			VU	EN-r		延岡市 祝子町、北方町	7,15	南限域
カイジンドウ			EN			高森町	7	
ガガイモ				VU-r		五ヶ瀬川・大瀬川分流地点、五ヶ瀬川中～下流流域	3,9,15	
カゲロウラン			VU	VU-g		延岡市	15	
カツラ						高千穂町 向山秋元	24	
カヤ	五ヶ瀬					五ヶ瀬町 古戸野神社	8	呼称: 古戸野神社かや

表 2-2-4(2) 五ヶ瀬川で確認された植物の特定種一覧表

種名						確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	巨			
カワヂシャ			NT			五ヶ瀬川中流域、北川上～下流域、北川支川	3,4,9	
キシウナキリスゲ			EN	CR-d		延岡市、北川町、北浦町	7	
キセワタ			VU	EN-r		宇目町、高森町	7	南限
キノニスゲ			VU	VU-g		延岡市	15	
キビノクロウメモドキ			VU	CR-r		宇目町、北川町、高千穂町、日之影町	7	
キリ	大分県					祖母傾山 国有林内・外	8	呼称:宇目の野生桐
キンモクセイ	国					北浦町 古江	8	呼称:古江のキンモクセイ
キンラン			VU	NT-g		北川上流域	4	
クスノキ						延岡市春日神社	24	呼称:春日神社のクス(3本)
クスノキ						延岡市街地	24	
クワズイモ				VU-g		延岡市	15	
ケミヤマナミキ			EN	CR-r		延岡市、宇目町、北川町、日之影町	3,7,15	
ケヤキ	国					高千穂町 下野八幡宮	8,24	呼称:下野八幡神社のケヤキ
ケヤキ	蘇陽					蘇陽町 馬見原	8	呼称:田町天満宮の櫨
ケヤキ	蘇陽					蘇陽町 柏	8	呼称:不動堂の櫨
コアマモ				NT-g		五ヶ瀬川河口から下流域(砂質の泥地)	2,15	
コイヌガラシ				NT-g		五ヶ瀬川下流域、北川下流域	3,15	
コウキヤガラ				EN-r		延岡市	3,15	
コウホネ				NT-g		延岡市 金堂ヶ池	3,15	
コギシギシ			VU	NT-g		延岡市	7	
コキンバイザサ				VU-g		延岡市	15	
ゴマクサ			EN	NT-g		蘇陽町	7	
ゴマシオホシクサ			EN	CR-g		延岡市	15	
サイコクヌカボ			EN	CR-g		延岡市(北川下流域)	3,7	南限
サカキ	五ヶ瀬					五ヶ瀬町	8	呼称:三ヶ所神社さかき
サクラ	北浦					北浦町 大井 三川内神社	8	
サクラソウ			VU	CR-g		五ヶ瀬川源流域(高森町)	5	南限
ササユリ				EN-g		延岡市	15	南限

表 2-2-4(3) 五ヶ瀬川で確認された植物の特定種一覧表

種名						確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	巨			
サンヨウアオイ				VU-r		北川支川(小川等)	4	南限
シイノキ						延岡市 貝の瀬付近	24	
シシアクチ				CR-r		延岡市	15	九州で宮崎のみ、北限
シダレザクラ	宮崎県					五ヶ瀬町	8	呼称:浄専寺のシダレザクラ
シダレザクラ	五ヶ瀬					五ヶ瀬町 宮の原・揚	8	2本
シノメソウ			EN	CR-r		延岡市	15	南限域
シバナ			VU	VU-r		延岡市 北川町 北浦町(入り江や河口付近の泥地)	2,3,7	
ジュンサイ				CR-r		延岡市	15	
ズイナ				VU-r		北川上流域	4	
スギ						蘇陽町 下山・宮ノ後・二瀬木	14,26	計4本
スギ						高森町 草部	14,26	
スギ						北方町 川水流	8	呼称:大杉 巨樹として町文化財資料に記載
スギ	高千穂					高千穂町 三田井 高千穂神社	8	呼称:秩父杉
スギ	五ヶ瀬					五ヶ瀬町 古戸野神社	8	呼称:古戸野神社杉
スギ	五ヶ瀬					五ヶ瀬町 祇園神社	8	呼称:祇園神社杉
スギ	蘇陽					蘇陽町 下山	8	呼称:下山八幡宮の杉
スギ	蘇陽					蘇陽町 馬見原	8	呼称:明德山の山伏杉
スギ						高千穂町 上野 上野神社	24	
スギ						高千穂町 下野八幡宮	24	
スズサイコ			VU	VU-g		蘇陽町、高森町、高千穂町	7	
スズメノハコベ				NT-g		延岡市 北川下流域	3,15	
スズメハコベ			EN	NT-g		小川	4	
セキシウモ				NT-g		五ヶ瀬川中流域	3	
セッコク			EN				15	
センダン						北方町 三槿	8	巨樹として町文化財資料に記載
センニンモ				CR-r		北川下流域	4	
ソハヤキミズ			CR	EX-r		延岡市行藤町、北方町	7,15	基準標本、準固有、南限
タイリンアオイ				VU-r		延岡市	15	南限

表 2-2-4(4) 五ヶ瀬川で確認された植物の特定種一覧表

種名						確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	巨			
タコノアシ			VU	VU-g		大瀬川中流～河口付近 北川下流域	2,3,13	
タシロノガリヤス			EN	OT-1		延岡市、北方町、北川町、高 千穂町、宇目町、日之影町	7	準固有
チャボツメレンゲ			VU	EN-r		延岡市	15	南限
チョウジソウ			VU	CR-r		延岡市、宇目町、北川町	7,15	南限
チョウセンスイラン			EN	CR-r		蘇陽町、高森町、高千穂町	7	南限
チョクザキミズ			CR			高千穂町、日之影町、五ヶ 瀬町	7	
ツクシクカイソウ			EW	CR-r		五ヶ瀬川源流域(高森町)	5	日本では宮崎・熊 本のみ
ツクシタンポポ			EN	CR-r		宇目町、日之影町	7	南限
ツクシテンツキ			VU			高森町	7	
ツクシムレスズメ			CR	CR-r		小川	4	日本では宮崎、熊 本、鹿児島のみ
ツチビノキ			VU	CR-r		延岡市、鬼の目山	15	
ツツジ	日之影					日之影町 七折東深角	8	呼称:深角つつじ
テツホシダ				VU-g		延岡市	15	
デンジソウ			VU	EX-r		延岡市	7	
トダイアカバナ			VU	CR-r		延岡市、北方町、北川町、宇 目町、高千穂町、日之影町	7	九州で宮崎のみ、 南限
ナガエミクリ				NT-g		延岡市	15	
ナガボテンツキ				CR-r		北川下流域	3,4	
ナギラン			VU	VU-g		延岡市	15	
ナゴラン			CR	EN-g		延岡市	15	
ナラ	蘇陽					蘇陽町 米迫	8	呼称:水神の櫓
ニッケイ			NT			小川	4	
ヌカボタデ			VU	EN-g		延岡市、北川町(北川下流 域)	3,7,15	南限
ヌマゼリ			EN	CR-r		延岡市、北川町	7	南限
ノダイオウ			VU				3	
ノテンツキ				EN-r		五ヶ瀬川中流域	3,9	
ハナシノブ			CR	CR-r		五ヶ瀬川源流域(高森町)	5	
ハマサジ			VU	NT-r		延岡市	15	
ハマゼリ				EN-r		延岡市	15	

表 2-2-4(5) 五ヶ瀬川で確認された植物の特定種一覧表

種名						確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	巨			
ハマナツメ			EN	VU-g		延岡市(河口付近・北川下流域)	3,7,15	
ハマボウ				NT-g		延岡市	3,15	
ハママツナ				CR-r		延岡市櫛津町	15	
ハンノキ				NT-g		延岡市	15	
ヒイラギ	五ヶ瀬			CR-r		五ヶ瀬町 兼ヶ瀬	8	九州本土で宮崎のみ、南限
ヒツジグサ				EN-g		延岡市	15	
ヒノキ	蘇陽					蘇陽町 方ヶ野	8	呼称:方ヶ野天満宮の方永檜
ヒメイカリソウ				CR-r		延岡市	15	南限
ヒメコウホネ			VU	VU-r		延岡市稲葉崎町、北川町	7,15	
ヒメシロアサザ			VU	VU-g		延岡市、北川町、北浦町	7,15	
ヒメナミキ				VU-r		延岡市 方財町	3	
ヒメヒゴタイ			VU	CR-d		宇目町	7	南限
ヒメミクリ			VU	CR-r		北川上流域	4	
ヒメミソハギ				NT-g		五ヶ瀬川・大瀬川分流地点	3	
ヒユウガトウキ			VU	VU-g		延岡市、北方町	7,15	準固有、南限
フウラン			VU	VU-g		延岡市	15	
フクジュソウ	宮崎県		VU	CR-r		五ヶ瀬川源流域(高森町)、高千穂町	5	
フサモ				EN-r		五ヶ瀬川中流域	3	
フジ	蘇陽					蘇陽町 菅尾	8	呼称:恵良の藤
ホソバオグルマ			VU			蘇陽町、高森町、高千穂町	7	
マイヅルテンナンショウ			VU	EN-r		小川	4	
マキ	蘇陽					蘇陽町 大野	8	呼称:幣立神宮の高野檜
マツ	蘇陽					蘇陽町 長崎	8	呼称:服掛の松
マツ	蘇陽					蘇陽町 塩出迫	8	呼称:竜王の松
マツ	蘇陽					蘇陽町 長谷	8	呼称:塚野のさがり松
マツカサススキ				EN-r		延岡市、五ヶ瀬川中流域	3,9,15	南限
マツバラシ			VU	VU-r		延岡市	15	
マルバテイショウソウ			EN	NT-g		延岡市	7	日本では宮崎・鹿児島・熊本のみ

表 2-2-4(6) 五ヶ瀬川で確認された植物の特定種一覧表

種名						確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	巨			
マルミカンアオイ			EN	NT-g		延岡市	15	準固有
ミクリ			NT	VU-r		延岡市	15	南限域
ミシマサイコ			VU	CR-g		高森町	7	
ミズオオバコ				NT-g		延岡市	15	
ミズトラノオ			VU	CR-r		延岡市、北川町	7	
ミズネコノオ			VU	NT-g		延岡市、北浦町	7,15	
ミズマツバ			VU			宇目町、北川下流域、小川	3,4,7	
ミゾコウジュ			NT			五ヶ瀬川中・下流域、 北川上～下流域、小川	2,3,4,9	
ミチヤナギ				NT-g		五ヶ瀬川・大瀬川分流地点	3	
モウソウキンメイチク	国					北川町 祝子川上流	8	呼称：祝子川のモウソウキンメイチク林
モミジコウモリ			VU	NT-g		延岡市	15	準固有、北限
ヤクシマスゲ			VU			日之影町	7	
ヤシャゼンマイ				NT-r		延岡市	15	南限
ヤッコソウ	延岡 北浦			EN-g		延岡市 熊野江神社 北浦町 市振神社	8,15	(含む椎の木)
ヤツシロソウ			EN			源流域(高森町)	5	
ヤナギイボタ				EN-r		北川上流域、小川	4	
ヤナギスブタ				EN-g		延岡市	15	
ヤブヨモギ			VU			蘇陽町、高森町、高千穂町、 日之影町、宇目町	7	
ヤマトミクリ			VU	EN-r		延岡市、北川町	7,15	南限域
リュウノヒゲモ			VU	CR-r		延岡市、北川下流域	4,15	
ロクオンソウ			EN	VU-g		延岡市、高森町、蘇陽町	7,15	
下野八幡宮のイチョウ	国					高千穂町	8	
下野八幡宮のケヤキ	国					高千穂町	8	
古江のキンモクセイ	国					北浦町	8	
田原のイチョウ	国					高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町	8	

2) 五ヶ瀬川に生育する重要な動物種

五ヶ瀬川に生育する重要な動物は、次表の特定種一覧表に示すとおりである。特定種は哺乳類3種、両生・は虫類10種、鳥類44種、昆虫類75種が確認されている。なお、表中の資料番号は、後掲の表2-2-11を参照されたい。

表2-2-5 五ヶ瀬川で確認された哺乳類の特定種一覧表

種名	種別							確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	水	自	湿			
イタチ (イタチ属の一種)				NT-g				水田、池沼のそばから人家周辺 大瀬川下流域 北川下流域 五ヶ瀬川注・下流域	2,3	イタチ・イタチ属はチョウセンイタチの可能性もあり、その場合は重要種とはならないが、安全側をとりイタチとみなして重要種に含めた
カモシカ	国特		地域 個体群	OT-1				祖母・傾山系	8,24	国特別天然記念物
ムササビ				NT-g				大瀬川	3	
ツキノワグマ			LP	Ex-d				祖母・傾山系	6,22	絶滅か？
ヤマネ	国		NT	VU-g				祖母傾山系	8	

表2-2-6 五ヶ瀬川で確認されたは虫類・両生類の特定種一覧表

種名	種別							確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	水	自	湿			
アカウミガメ (及びその産卵地)	宮崎県		VU	NT-g				長浜海岸・方財町海岸など	3,4,18	ワシントン条約
イシガメ				VU-r				大瀬川	2,4	
オオイタサンショウウオ			VU	EN-r				五ヶ瀬川源流域(宇目町、高森町、蘇陽町)	22,23	
オオサンショウウオ	国特			DD-2				五ヶ瀬川源流域 祖母傾山系	6,8	
オオダイガハラ サンショウウオ	大分県		LP	EN-r				源流域(高森町) 祖母傾山系(宇目町)	5,21,22	
カナヘビ			VU					北川、五ヶ瀬川水系 河川敷など	3,18	
クサガメ				VU-r				北川下流域	3	
シロマダラ				DD-2				延岡市	19	
スッポン			DD-2					五ヶ瀬川水系	3,4,18	
タカチホヘビ				DD-2				延岡市	19	
トノサマガエル				NT-g				五ヶ瀬川 中・下流域 北川下流域	3,4,19	
ニホンヒキガエル				NT-g				延岡市	19	
ブチサンショウウオ				DD-2				五ヶ瀬川上流域、祝子川上流域、祖母傾山系	4,6,19,22	
ベッコウサンショウウオ			NT	EN-r			2	九州中央山地源流域(五ヶ瀬川源流域)、 五ヶ瀬川上流域	2,6,21,23	
ヤモリ				DD-2					4	

表 2-2-7(1) 五ヶ瀬川で確認された鳥類の特定種一覧表

種名	種別							確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	水	自	湿			
アオバズク				NT-g					4	
アカアシシギ			VU					五ヶ瀬川・大瀬川下流域	3	
アカショウビン				NT-r					4	
アカモズ			NT					延岡市	18	
ウズラ			DD	NT-g				延岡市	4,18	
オオジシギ			NT	VU-r				北川下流域	3,4	
オオタカ			VU	NT-r				延岡市、五ヶ瀬川中流域、北川下流域	3,4,9,18,20	
オオルリ				NT-r				北川中流域付近 北川支川上流部	4	
オジロワシ			EN					延岡市	18	
カッコウ				NT-r					4	
カラシラサギ			DD					延岡市	18	
カラスバト	国		NT	VU-r				五ヶ瀬川流域	20	
カンムリウミスズメ	国		VU	EN-r					4,8,18	
カンムリカイツブリ			LP					全域	2,3	
キビタキ				NT-r				北川中流域付近	4	
クイナ				NT-r					4	
クマタカ			EN	VU-g				北川町・北浦町の町境付近 延岡市	4,18,20	
クロサギ				NT-r					4	
クログミ				NT-r					4	
コアジサシ			VU	NT-g				五ヶ瀬川・大瀬川下流域	3,4,18	
コサメビタキ				NT-r					4	
コシジロヤマドリ			NT	OT-1					4,18	その他保護上重要な種
コシャクシギ			CR	VU-r				全域	2,4,18	
コノハズク				VU-r					4	
コマドリ				NT-r					4	
サシバ				NT-g				五ヶ瀬川中～下流域	3,4,9	
サンコウチョウ				NT-r				北川中流域付近 北川支川上流部	4	
サンショウクイ			VU					五ヶ瀬川・大瀬川分流地点 五ヶ瀬川中流域	3,9	
ジュウイチ				NT-r					4	
ズグロカモメ			VU	EN-r					4	
セイタカシギ			EN					五ヶ瀬川下流域	3,18	
タマシギ				NT-r				五ヶ瀬川・大瀬川下流域	3,4	
チュウサギ			NT		希少			五ヶ瀬川 中・下流域 北川下流域	3,9	
チュウヒ			VU	VU-r				岩熊井堰付近 北川下流域	3,4	

表 2-2-7(2) 五ヶ瀬川で確認された鳥類の特定種一覧表

種名	種別							確認地点	資料 番号	備考
	天	種	環	県	水	自	湿			
ツクシガモ			EN	EN-r				五ヶ瀬川 下流域	3	
ツツドリ				NT-r					4	
ツバメチドリ			VU	VU-r				延岡市、北川下流域	4,18	
ツミ				NT-r				五ヶ瀬川中流域	9	
トモエガモ			VU	EN-r				五ヶ瀬川・大瀬川下流域 北川下流域	3,4,18	
トラツグミ				NT-g					4	
ノジコ			NT					延岡市、五ヶ瀬川中流域	9,18	
ハイイロチュウヒ				VU-r				五ヶ瀬川下流域	3,4	
ハイタカ			NT	NT-r				五ヶ瀬川 上～下流域 北川下流域	3,4,9,18	
ハチクマ			NT	VU-r				五ヶ瀬川 中・下流域 北川下流域	3,4,18	
ハヤブサ			VU	NT-r				五ヶ瀬川 中・下流域 北川下流域	3,4,18	
ヒクイナ				NT-g				五ヶ瀬川中・下流域	3,4,9	
フクロウ				VU-g				北川下流域	4	
ホウロクシギ			VU	NT-r				五ヶ瀬川・大瀬川下流域	3,4,18	
マガン			NT					延岡市	18	
マナヅル			VU					延岡市	18	
ミサゴ			NT	NT-r				五ヶ瀬川 中・下流域 北川下流域	2,3,4,18,9	
ヤイロチョウ			EN	EN-r				延岡市	4,18	
ヨシゴイ				NT-r					4	
ヨタカ				NT-r					4	

表 2-2-8 五ヶ瀬川で確認された魚類の特定種一覧表

種名	種別								確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	水	漁	自	湿			
アカメ			NT	VU-g					五ヶ瀬川・北川河口域	2,17,24	
アユ									全域	2	
ウグイ									五ヶ瀬川上～下流域	3	
ウナギ									五ヶ瀬川下流域	3	
カマキリ(アユカケ)				NT-g					五ヶ瀬川中・下流域 北川中～下流域 祝子川下流域	2,3 6	
カワアナゴ				DD-2					五ヶ瀬川中・下流域 北川下流域	2,3,4	
ギンブナ									五ヶ瀬川中・下流域	3	
コイ									五ヶ瀬川中・下流域	3	
ナマズ				NT-g					五ヶ瀬川中流域 北川 上～下流域、北川支川	3,4,9	
ゲンゴロウブナ										3	
フナ属の一種										3	
イチモンジタナゴ			EN		希少				大瀬川	3	
ヤマメ									五ヶ瀬川及び支川上・中 流域	3	
メダカ			VU	VU-g					延岡市、北川下流域	3,4,19	
トビハゼ				VU-g						4	
ドンコ			CR						五ヶ瀬川上～下流域	16	
ドジョウ				NT-g					北川下流	4	
タカハヤ									北川支川(小川等)	4	減少傾向

表 2-2-9 五ヶ瀬川で確認された底生動物の特定種一覧表

種名	種別								確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	水	漁	自	湿			
カワスナガニ			DD	DD-2					五ヶ瀬川、祝子川、北川 の感潮域	1,2,3	
ノコギリガザミ				NT-r					下流域	3	
モノアラガイ			NT	CR-r					五ヶ瀬川 中流域 北川下流域	3,4	
ドブガイ				DD-2					北川下流域	4	
マツカサガイ				DD-2					北川下流域	4	
ミナミテナガエビ									北川上流域	4	減少傾向
モズクガニ									五ヶ瀬川中流域、小川	3,4	減少傾向

表 2-2-10(1) 五ヶ瀬川で確認された昆虫類の特定種一覧表

種名	種別							確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	水	自	湿			
アイノミドリシジミ				NT-g		D		祖母傾山系、五ヶ瀬川最上流部(五ヶ瀬町)、延岡市	6,19	
アオカナブン				NT-g		C		祖母傾山系(高千穂町)	6	
アオクチブトカメムシ						B		祖母傾山系	22	
アオサナエ				NT-g				五ヶ瀬川・大瀬川分流域、小川	3,4	
アカシジミ				NT-g		C		五ヶ瀬川中流域～上流域、山間部、延岡市	6,19	
アトコブゴミムシダマシ						B		祖母傾山系	22	
イカリモンハンミョウ			CR+EN	NT-g				延岡市	4,18	
ウグイスシャチホコ								延岡市	19	九州未記録
ウグイスセダカヨトウ								延岡市	19	貴重種分布局地的
ウスオビコバネナミシャク								延岡市	19	九州未記録
ウスグロマダラウワバ								延岡市	19	珍種 日本特産種
ウミホソチビゴミムシ			NT					延岡市(平地から市街地、河川の砂地)	2,3,18	
ウラキンシジミ				NT-g		D・B		祖母傾山系、五ヶ瀬川最上流部(五ヶ瀬町)、延岡市	6,19,22	
ウラギンスジヒョウモン				VU-g				延岡市	19	
ウラギンヒョウモン				NT-g				延岡市	19	
ウラクロシジミ				NT-r		D・B		祖母傾山系	6,22	
ウラゴマダラシジミ				CR-r		D		五ヶ瀬川最上流域(五ヶ瀬町)	6	
ウラジロミドリシジミ				NT-g		C		五ヶ瀬川源流域(高森町・蘇陽町)	23	
ウラナミジャノメ			VU	NT-g				延岡市	4,19	
エゾスジグロシロチョウ				NT-g		C		五ヶ瀬川源流域(高森町・蘇陽町) 延岡市	19,23	
エゾベニヒラタムシ						B		祖母傾山系	22	
エゾミドリシジミ				NT-g		B		延岡市、祖母傾山系	19,22	
エゾヨツメ				NT-r				延岡市	19	
オオアワフキ						C		祖母傾山系	22	
オオウラギンヒョウモン			CR+EN	EN-g				延岡市	4,19	
オオキノコムシ						B		祖母傾山系	22	
オオクボカミキリ				NT-r		C		祖母傾山系	22	
オオセンチコガネ				NT-g		C		祝子川・網ノ瀬川上流部	6	
オオダイセマダラコガネ				NT-g		C		祖母傾山系	6	

表 2-2-10(2) 五ヶ瀬川で確認された昆虫類の特定種一覧表

種名	種別							確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	水	自	湿			
オオツチイロノメイガ								延岡市	19	分布貴重
オオニジュウヤホシテン トウ						C		祖母傾山系	6	
オオホシオナガバチ						B		祖母傾山系	22	
オオホソコバネカミキリ				NT-r		B		祖母傾山系(高千穂町) 五ヶ瀬川源流域(五ヶ瀬 町)	6	
オオミドリシジミ				NT-g		C		五ヶ瀬川源流～上流域 祖母傾山系	6,23	
オオミノガ				VU-g				延岡市	19	
オオムラサキ			NT	NT-g		指		五ヶ瀬川中～上流域 延岡市、祖母傾山系	4,19,2 2	
オオモンキメクラガメ						C		祝子川上流域 祖母傾山系	6	
オキナワルリチラシ						C		祖母傾山系	22	
オナガアゲハ				NT-g				延岡市	19	
オナガサナエ				NT-g				五ヶ瀬川・大瀬川分流地 点、北川上～下流域、小 川	3,4	
オナガシジミ				EN-r		D		五ヶ瀬川源流域(五ヶ瀬 町)	6	
カドムネヒラタカメムシ				NT-r		C		祝子川・綱ノ瀬川上流部	6	
ガマキンウワバ				NT-r				延岡市	19	
カラスシジミ				NT-g		B		延岡市、祖母傾山系	19,22	
キアシドクガ								延岡市	3,18	九州未記録
キイロヤマトンボ			VU	VU-g				五ヶ瀬川・大瀬川分流地 点	3	
キバネセセリ				NT-r		C		日之影川(日之影町)、 祖母傾山系、五ヶ瀬川 最上流域	6	
キベリマメゲンゴロウ				NT-r				五ヶ瀬川・大瀬川分流地 点	3	
キマダラモドキ			NT	NT-r		C		祖母傾山系、五ヶ瀬川 源流域～上流部	6,23	
キリシマミドリシジミ				NT-g				延岡市	19	
キンスジコガネ						B		祖母傾山系	22	
クモガタヒョウモン				NT-g				延岡市	19	
クロカタビロオサムシ				DD-2		B		祖母傾山系	22	
クロカナブン				NT-g				五ヶ瀬川・大瀬川分流地 点	3	
クロシオゴマフボクトウ				VU-r				延岡市	19	
クロシジミ			CR+EN	VU-g				延岡市	4,19	
クロミドリシジミ				VU-g		C		五ヶ瀬川源流域～上流 域(高森町・蘇陽町・高 千穂町)	6,23	
クロモンオビリンガ				DD-2				延岡市	19	

表 2-2-10(3) 五ヶ瀬川で確認された昆虫類の特定種一覧表

種名	種別							確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	水	自	湿			
ゲンゴロウ			NT	CR-g					4	
ゴイシジミ				NT-g				延岡市	19	
コガタノゲンゴロウ			CR+EN	NT-g				五ヶ瀬川・大瀬川分流域 点、北川下流域	3,4,18	
コツバメ				NT-g				延岡市	19	
コヒラタカメムシ						C		祝子川・綱ノ瀬川上流部	6	
コベニモンメクラガメ						C		祖母傾山系 五ヶ瀬川最上流域	6	
ゴマフシロキバガ								延岡市	19	九州未記録
コムラサキ				NT-g				延岡市	19	
サツマウバタマムシ						C		五ヶ瀬川下流域	6	
サツマゴキブリ						C		五ヶ瀬川下流域	6	
サラサヤンマ				NT-g				五ヶ瀬川 中・下流域	3	
シータテハ				NT-g		C		延岡市、祖母傾山系 五ヶ瀬川最上流部	6,19	
シナカミキリ				NT-r		C		五ヶ瀬川源流域(五ヶ瀬 町)	6	
ジャノメチョウ				NT-g				延岡市	19	
ジョナスキシタバ				NT-r		C		祖母傾山系	6	
シラクモアツバ								延岡市	19	九州未記録
シラホシアシブトクチバ								延岡市	19	珍種
シロテンコウモリ				DD-2				延岡市	19	
シロヘリハンミョウ				NT-r				五ヶ瀬川下流域	3	
スギタニゴマケンモン				NT-r		C		祖母傾山系	6	
スギタニルリシジミ				NT-g				延岡市	19	
スジグロチャバナセセリ			NT	NT-r		C		祖母傾山系(高千穂町) 五ヶ瀬川上～源流域 延岡市	4,6,19	
スジボソヤマキチョウ				CR-d		E		祖母傾山系(高千穂町)	6	
スマレシロヒメシャク								延岡市	19	九州未記録
ソトシロフヨトウ								延岡市	19	九州未記録
タカオキリガ				DD-2		C		祖母傾山系	6	
タカネトンボ				NT-r		D		五ヶ瀬川下流域(延岡市 街地)	6	
タガメ			VU	VU-g		指		五ヶ瀬川上流域、宇目 町	3,6,22	
タテハモドキ						C		北川下流域、大瀬川	3,6	
タナベサナエ				VU					4	
ツクシカラスヨトウ				NT-g				延岡市	19	
ツノクロツヤムシ				NT-g		B・C		祖母傾山系(高千穂町・ 宇目町)	6,22	

表 2-2-10(4) 五ヶ瀬川で確認された昆虫類の特定種一覧表

種名	種別							確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	水	自	湿			
ツマキレオナガミズスマシ				DD-2				五ヶ瀬川・大瀬川分流地点	3	
ツマグロキチョウ			VU					下流域、延岡市	3,4,19	
ツمامラサキアツバ								延岡市	19	九州本土未確認、珍
テイキチシャチホコ				DD-2				延岡市	19	
トカラナガカメムシ						C		祝子川上流域	6	
トガリバホソコバネカミキリ				NT-r		B		祖母傾山系	22	
トゲヒゲホソヒラタカメムシ				NT-r		C		祝子川・綱ノ瀬川上流部	6	
ナガトガリバ								延岡市	19	九州未記録
ナガヒラタカメムシ						C		祝子川・綱ノ瀬川上流部	6	
ニジオビベニアツバ				NT-g				延岡市	4,19	貴重種分布局地的
ニホンミツバチ				NT-g				五ヶ瀬川 中・下流域	3	
延岡市周辺の主要なトンボ生息地								延岡市 金堂ヶ池	3	
ハネナガモクメキリガ				NT-g				延岡市	19	
ハルゼミ				NT-g		指		五ヶ瀬川源流域～上流域	6,22,23	
ハンノオオルリカミキリ						B		祖母傾山系	22	
ヒオドシチョウ				NT-g		C		五ヶ瀬川 下～上流域 流域、北川支川中流域、 祖母傾山系	3,6,19	
ヒゲナガトビイロサシガメ						C		祝子川上流域	6	
ヒサマツミドリシジミ				VU-g				延岡市	19	
ヒメエグリアツバ								延岡市	19	珍
ヒメキマダラヒカゲ				NT-g		B・C		祖母傾山系	6,22	
ヒメシロチョウ			VU	VU-r		C		五ヶ瀬川源流域(高森町・蘇陽町)	23	
ヒメスズメ				NT-r		B・C		五ヶ瀬川源流域	23	
ピロウドハマキ						B		祖母傾山系	22	
フジミドリシジミ				NT-g		D		祖母傾山系、延岡市	6,19	
フタコブスジアツバ								延岡市	19	貴重種分布局地的九州珍
ブロウニングカミキリ						C		祖母傾山系	22	
ヘイケボタル				NT-g					4	
ベニイカリモンガ				NT-g				延岡市	4,19	
ベニツチカメムシ				NT-g				五ヶ瀬川・大瀬川分流地点	3	
ヘリグロチャバネセセリ				NT-r		C		延岡市、五ヶ瀬川源流域(高森町・蘇陽町)	19,23	

表 2-2-10(5) 五ヶ瀬川で確認された昆虫類の特定種一覧表

種名	種別							確認地点	資料番号	備考
	天	種	環	県	水	自	湿			
ホシミスジ				NT-r		C		五ヶ瀬川源流域(高森町・蘇陽町) 高千穂町山間部	6,23	
ホソバネキンウワバ								延岡市	19	大方北方系珍
ホソムネクロナガオサムシ						B		祖母傾山系	22	
ホソモモブカミキリ						C		祖母傾山系(高千穂町) 五ヶ瀬川源流域(五ヶ瀬町)	6	
マエウスモンキノメイガ								延岡市	19	分布貴重
マルバネヒメカゲロウ						C		祖母傾山系	22	
ミズイロオナガシジミ				NT-g				延岡市	19	
ミスジチョウ				VU-g		B・C		祝子川中流域、祖母傾山系五ヶ瀬川上流域、延岡市	6,19,22	
ミヤマセセリ				NT-g				延岡市	19	
ミヤマチャバネセセリ				NT-g				延岡市	19	
ムカシトンボ				NT-g		指		五ヶ瀬川 岩熊井堰付近、北川下流域、五ヶ瀬川上流域(山間の溪流)、北川支川(小川等)	2,3,4,6	
ムカシヤンマ				NT-g		指		日之影川(日之影町)	6	
メスアカミドリシジミ				NT-g		B・C		祖母傾山系 五ヶ瀬川最上流部(五ヶ瀬町)、延岡市	6,19,22	
ヤセオオヒラタカメムシ			VU			C		祝子川・綱ノ瀬川上流部	6	
ヤマトハガタヨトウ				NT-g				延岡市	4,19	
ヨツボシトンボ						D		五ヶ瀬川下流域	6	
ヨツボシメクラガメ						C		祝子川上流域	6	
リュウキュウルリボシカミキリ						C		祝子川・綱ノ瀬川上流部 祖母傾山系	6,22	
ルリヒラタムシ						D		祖母傾山系	22	
ヒメボタル				NT-g				北川町(北川中流)	28	
シロヘリツチカメムシ			NT					五ヶ瀬川・大瀬川分流域点	3	
グンバイトンボ			VU	EN-r				北川下流域	4	
キイロサナエ				VU-g				北川下流域	4	
タベサナエ				VU-g				北川下流域	4	
ナベブタムシ				NT-g				北川上流域	4	

3) 区域ごとの主な環境要素と河川環境を特徴づける種及び集団分布値、繁殖地等

表 2-2-11 区域ごとの主な環境要素と河川環境を特徴づける種及び集団分布地、繁殖地等

区域	主な環境の構成要素	河川環境を特徴づける種	集団分布地、繁殖(産卵)地、ねぐら
下流域	<p>水域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汽水域、入り江 ・瀬、堰 <p>陸域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂浜、干潟 ・中洲、河川敷、ヨシ、アシ、草地 	<p>植 物：<u>コアモ</u>群落、ヨシ、アシ、マコモ群落、ヒメガマ群落、ハマボウ、<u>シバ</u>、<u>クノアサ</u></p> <p>哺乳類：<u>カシ</u>、<u>カネミ</u>、<u>タヌキ</u>、<u>イノシシ</u></p> <p>鳥 類：<u>カウ</u>、<u>コアシ</u>、<u>マガモ</u>、<u>ツシガ</u>、<u>モ</u>、<u>トビ</u>、<u>カモ</u>、<u>サシユウ</u>、<u>セイウ</u>、<u>シ</u>、<u>チュウ</u>、<u>チュウ</u></p> <p>両生は虫：<u>アカミガ</u>、<u>スッ</u>、<u>クガ</u></p> <p>魚 類：<u>アサ</u>、<u>ス</u>、<u>ボラ</u>、<u>ア</u>、<u>カサ</u>、<u>ウ</u>、<u>ボ</u></p> <p>昆虫類：<u>ム</u>、<u>カ</u>、<u>ヒ</u></p>	<p>植 物：<u>コアモ</u>群落、<u>ハマボウ</u>群落</p> <p>哺乳類：河畔のイノシシ植物 = <u>カネミ</u>の繁殖地及びねぐら、</p> <p>鳥 類：河口域 = <u>サギ</u>類、<u>カモ</u>類の集団繁殖地</p> <p>中洲のヨシ林 = <u>ツバ</u>、<u>ムドリ</u>のねぐら</p> <p>両生は虫：砂浜 = <u>アカミガ</u>の産卵地</p> <p>魚 類：汽水域 = <u>アサ</u>、<u>ス</u>等の幼稚魚の繁殖地</p> <p>昆虫類：河畔の<u>ム</u>、<u>イ</u> = <u>ヒ</u>等蝶類の採餌・繁殖</p>
中流域	<p>水域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早瀬、淵 <p>陸域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河畔林、岩、砂礫 	<p>植 物：<u>ツバ</u></p> <p>鳥 類：<u>アサ</u>、<u>チュウ</u>、<u>ムドリ</u>、<u>ヒ</u>、<u>ハ</u>、<u>ハ</u>、<u>ミ</u></p> <p>魚 類：<u>ア</u>、<u>カ</u>、<u>マ</u>、<u>ウ</u>、<u>カ</u></p> <p>昆虫類：<u>オ</u>、<u>ヒ</u>、<u>ア</u></p>	<p>植 物：鬼の目山の<u>ツバ</u>自生地</p> <p>鳥 類：<u>サ</u>類、<u>カ</u>類の集団繁殖地</p>
上流域	<p>水域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・V字渓谷、早瀬、滝 <p>陸域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹林地、断崖 	<p>植 物：<u>ス</u>・<u>ヒ</u>等の原生林、自然林、<u>サ</u>、<u>ハ</u>、<u>ヒ</u></p> <p>哺乳類：<u>カシ</u>、<u>コ</u>、<u>イ</u>、<u>テ</u>、<u>ア</u></p> <p>鳥 類：<u>ハ</u>、<u>ク</u>、<u>カ</u>、<u>オ</u></p> <p>両生は虫：<u>ア</u>、<u>ツ</u>、<u>オ</u>、<u>オ</u>、<u>オ</u></p> <p>魚 類：<u>ア</u>、<u>ヤマ</u>、<u>ウ</u>、<u>オ</u>、<u>ア</u>、<u>ラ</u>、<u>ド</u></p> <p>昆虫類：<u>オ</u>、<u>カ</u></p>	<p>植 物：涸谷の<u>シ</u>群落、白岩山の岩峰植物群落と<u>ク</u>群落を含む原生林</p> <p>哺乳類：<u>カシ</u>、<u>イ</u>等の分布、繁殖地(祖母傾山系)</p> <p>両生は虫：<u>サ</u>類の分布、繁殖地</p> <p>魚 類：<u>ヤマ</u>、<u>ア</u>の産卵地</p>
祝子川流域	<p>水域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渓谷、早瀬、淵 <p>陸域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河畔林、 	<p>植 物：<u>ア</u>、<u>ヒ</u>、<u>サ</u>、<u>モ</u></p> <p>哺乳類：<u>カシ</u>、<u>イ</u></p> <p>鳥 類：<u>カ</u></p> <p>両生は虫：<u>ア</u></p> <p>魚 類：<u>ヤマ</u>、<u>コ</u>、<u>ア</u></p> <p>昆虫類：<u>オ</u>、<u>シ</u>、<u>ヒ</u></p>	<p>植 物：上流域の自然林、<u>モ</u>林</p> <p>哺乳類：<u>カシ</u>等の分布、繁殖地</p> <p>鳥 類：<u>カ</u>の繁殖地</p> <p>両生は虫：<u>ア</u>の産卵地</p> <p>魚 類：<u>ヤマ</u>の産卵地</p>
北川流域	<p>水域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渓谷、瀬、淵 <p>陸域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河畔林、草地、沈水植物 	<p>植 物：<u>ク</u>群落、<u>コ</u>群落、<u>ス</u> - <u>ヒ</u>植林、<u>ス</u>、<u>水田雑草</u>群落</p> <p>鳥 類：<u>オ</u>、<u>ヒ</u>、<u>サ</u></p> <p>両生は虫：<u>カ</u>、<u>ト</u></p> <p>魚 類：<u>ア</u>、<u>ヤマ</u>、<u>ア</u></p> <p>昆虫類：<u>ゲ</u>、<u>ヘ</u></p>	<p>植 物：家田周辺の湿地植物群落</p> <p>魚 類：<u>ア</u>・<u>ヤマ</u>の産卵</p> <p>昆虫類：<u>ホタル</u>類の繁殖地</p>

下線は特定種を示す。

4) 文献一覧表

表 2-2-11 動植物関係収集資料一覧表

資料番号	出典資料名及び選定基準
1	日本の重要湿地 500 (環境省「インターネット自然研究所」ホームページより)
2	五ヶ瀬川カワナビマップ(国土交通省 延岡工事事務所調査第一課ホームページより)
3	五ヶ瀬川水系 河川環境情報図 (平成14年3月) 国土交通省 延岡工事事務所
4	宮崎県河川整備計画検討委員会 五ヶ瀬川水系北川圏域 - 県管理区間 - 第1回委員会資料 平成15年3月 宮崎県
5	ヒアリング
6	第2回自然環境保全基礎調査 宮崎県動植物分布図 昭和56年 環境庁自然保護局企画調整課
7	環境庁レッドリスト(ホームページ 公開種)
8	文化財資料(国・県・各市町)
9	五ヶ瀬川水系五ヶ瀬川圏域河川整備計画(案) - 県管理区間 - 参考資料 平成14年5月 宮崎県
10	川の生物図典 財団法人リバーフロント整備センター編
11	フィールド総合図鑑 川の生物 財団法人リバーフロント整備センター編
12	山溪カラー名鑑 日本の淡水魚
13	日本の重要な植物群落 九州版 環境庁 編
14	第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 (環境庁 1991)
15	延岡市環境基本計画 自然環境補足調査 報告書及びデータ集 (2001年3月 延岡市)
16	第3回自然環境保全基礎調査 河川調査報告書 九州・沖縄版 環境庁 1897年
17	第4回自然環境保全基礎調査 河川調査報告書 九州・沖縄版 環境庁 平成6(1994)年3月
18	延岡市環境基本計画 自然環境調査 報告書及びデータ集 (2000年3月 延岡市)
19	延岡市環境基本計画 自然環境補足調査 報告書及びデータ集 (2001年12月 延岡市)
20	生物多様性調査 鳥類調査中間報告書 平成11(1999)年3月 環境庁自然保護局 生物多様性センター
21	生物多様性調査 動物分布調査報告書(両生類・爬虫類) 平成13(2001)年10月 環境庁自然保護局 生物多様性センター
22	第2回自然環境保全基礎調査 大分県動植物分布図 1981年 環境庁
23	第2回自然環境保全基礎調査 熊本県動植物分布図 1981年 環境庁
24	第4回自然環境保全基礎調査 宮崎県自然環境情報図 平成7年 環境庁
25	第4回自然環境保全基礎調査 大分県自然環境情報図 平成7年 環境庁
26	第4回自然環境保全基礎調査 熊本県自然環境情報図 平成7年 環境庁
27	宮崎県版レッドデータブック 宮崎県の保護上重要な野生生物 平成12年3月 宮崎県
28	パンフレット等
29	植物群落レッドデータ・ブック 1996 (財)日本自然保護協会(NACS-J) (財)世界自然保護基金日本委員会(WWF Japan)

2 - 3 . 特徴的な河川景観や文化財等

(1) 観光及び景勝地

五ヶ瀬川流域には、すぐれた自然景観が非常に多く存在し、国や県、市町においてそれらの保全が図られているとともに、多くの観光客を誘致する資源となっている。

上流部から中流部にかけては祖母傾国定公園、祖母傾県立自然公園に指定されており、高千穂峡、見立渓谷などの渓谷や滝など、河川に関わりの深い山岳景勝地が多く、四季を通して行楽に訪れる人々で賑わいを見せている。祝子川上流の大崩山や比叡山～矢筈岳周辺は、険峻な山岳と四季を通じて自然林や花々を愛でる、自然景観を鑑賞しながらの登山コースとして人気が高い。

下流域から河口部は、砂州や砂丘などの海岸景観がすぐれており、特に延岡市から北浦町へ延びる長浜海岸は、国定公園やアカウミガメの産卵地として文化財としての保護を受ける美しい砂浜となっている。北浦町付近になると岩礁や海崖食の様相が増え、延岡市側とは異なった自然景観を見せている。



高千穂峡と真名井の滝

(宮崎県高千穂町)

三田井市街の南西約1.5km、阿蘇溶岩台地が数億年もの間五ヶ瀬川に浸食されてできた深いV字形の峡谷。延長2kmあまりに渡って続いており、「五ヶ瀬峡谷(高千穂峡)」として、国の名勝に指定されている。両岸には高さ50～100mの断崖が見事な柱状節理を見せてそそり立ち、崖上に茂る樹木が谷を覆って、神秘的な雰囲気醸し出している。

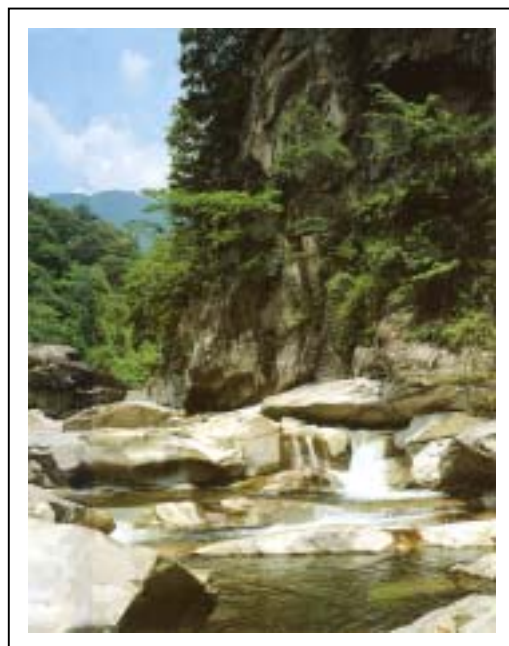
写真：高千穂町のホームページより

見立渓谷

(宮崎県日之影町)

祖母傾山系を源流とする全長38kmの日之影側上流に位置する。急流に浸食された花崗岩系の奇岩・怪岩がいたるところに露出する。高地の植物が有名で、春の新緑と秋の紅葉の美しさで名所となっている。また、かもしかの森にある「英国館」は、国の登録有形文化財に指定されている。

写真：パンフレット「ふるさと日之影・浪漫散策」より





大崩山

(宮崎県北川町・北方町・日之影町)

祖母傾国定公園及び祖母・傾県立自然公園に含まれる。山容は自然林におおわれ、変化豊かな大小の岩峰が随所にそそり立っている。永い歴史の中で造形された深い渓谷、花崗岩からなる岩石と清流、豊富な植物に加えカモシカの棲息地としても知られる。また、登山としても人気が高い。

写真：パンフレット「きたがわ」（北川町）より

比叡山

(宮崎県北方町)

標高は918m、花崗岩のスラブで鎧われたこの山は、昭和14年に国の名勝に指定された。網の瀬川の流れから一気に立ち上がる岩山で、対岸には険峻な矢筈岳が聳えている。

写真：パンフレット「北方見聞」（北方町）より



行藤の滝

(宮崎県延岡市)

延岡市の行藤山にある落差77m、幅30mの滝。日本の滝100選に選ばれており、垂直の岩壁を水が滑り落ちる様は近くで見ると迫力がある。

写真：パンフレット「まるごと延岡」（延岡市）より

表2-3-1(1) 五ヶ瀬川流域内のすぐれた自然景観

自然景観資源名	名称	県	関係市町村
火山群	阿蘇火山	熊本県	高森町
	阿蘇火山中央河口群	熊本県	高森町
火山	高岳	熊本県	高森町
	根子岳	熊本県	高森町
	丸山	熊本県	高森町
火口・カルデラ	阿蘇カルデラ	熊本県	高森町
カルデラ壁	阿蘇カルデラ壁	熊本県	高森町
山地景観 山脈・山地・高地・丘陵	九州山地	熊本県	高森町、蘇陽町
		宮崎県	北浦町、北川町、北方町、延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町
		大分県	宇目町
非火山性孤峰	愛宕山	宮崎県	延岡市
断崖・岩壁	湧塚南壁	宮崎県	北川町
	小積ダキ北壁	宮崎県	北川町
	坊主尾根南壁	宮崎県	北川町
	二枚ダキ	宮崎県	北川町
	大崩ダキ	宮崎県	北川町
	広ダキ	宮崎県	北川町
	鋒岳岩壁	宮崎県	北川町
	行藤奥壁左岩壁	宮崎県	北川町
	雌岳西壁・南壁	宮崎県	北川町
	雄岳中央壁・右岩壁	宮崎県	北川町
	比叡山・峰岩壁	宮崎県	北方町
	矢筈岳右岩壁	宮崎県	北方町
	比叡山 峰南壁	宮崎県	北方町
	北川ダム付近の断崖・岩壁	大分県	宇目町
	藤河内溪谷の断崖・岩壁	大分県	宇目町
岩峰・岩柱	七日廻りダキ	宮崎県	北川町
	上湧塚岩柱	宮崎県	北川町
	中湧塚岩柱	宮崎県	北川町
	丹助岳	宮崎県	北方町
	矢筈岳岩峰	宮崎県	北方町
	傾山の岩峰・岩柱	宮崎県	日之影町
	東傾の岩峰・岩柱	大分県	宇目町
石灰岩景観 鍾乳洞	三合鍾乳洞	宮崎県	高千穂町
	四恩岳鍾乳洞	宮崎県	高千穂町
	七折鍾乳洞	宮崎県	日之影町
	柘の滝鍾乳洞	宮崎県	高千穂町
	太子ヶ岩鍾乳洞	宮崎県	高千穂町
	尾越鍾乳洞	大分県	宇目町
特殊地学景観 岩脈	比叡一行藤弧状岩脈	宮崎県	延岡市、北方町、北川町
岩脈	根子岳天狗岩岩脈	熊本県	高森町

出典：第3回自然環境保全基礎調査 自然景観資源調査報告書「日本の自然景観 九州版」より

表2-3-1(2) 五ヶ瀬川流域内のすぐれた自然景観

自然景観資源名	名称	県	関係市町村
水景 河川景観 峡谷・渓谷	御手洗渓谷	宮崎県	北方町
	鹿川渓谷	宮崎県	北方町、日之影町
	日之影渓谷	宮崎県	日之影町
	岩戸川渓谷	宮崎県	高千穂町
	高千穂峡	宮崎県	高千穂町
	三ヶ所渓谷	宮崎県	五ヶ瀬町
	五ヶ所渓谷	宮崎県	五ヶ瀬町
	蘇陽峡	熊本県	蘇陽町
		宮崎県	五ヶ瀬町
	西山渓谷	大分県	宇目町
	藤河内渓谷	大分県	宇目町
	穿入蛇行河川	小川	宮崎県
三ヶ所川		宮崎県	五ヶ瀬町
五ヶ瀬川		宮崎県	五ヶ瀬町
瀬	下渡の瀬	宮崎県	北方町
甌穴群	御手洗渓谷甌穴群	宮崎県	北方町
	高千穂峡甌穴群	宮崎県	高千穂町
	鶉の子滝甌穴群	宮崎県	五ヶ瀬町
	鞍岡小川甌穴群	宮崎県	五ヶ瀬町
	西山渓谷の甌穴群	大分県	宇目町
	藤河内渓谷の甌穴群	大分県	宇目町
滝	蛇淵の滝	宮崎県	北川町
	観音滝	宮崎県	北浦町
	モチダ谷第三の滝	宮崎県	北川町
	若狭の淵滝	宮崎県	北川町
	登山口の滝	宮崎県	北川町
	水神淵の滝	宮崎県	北川町
	蛇淵の滝	宮崎県	北浦町
	千貫淵の滝	宮崎県	北川町
	鹿川キャンプ場の滝	宮崎県	北方町
	落水の滝	宮崎県	北川町
	竜子滝	宮崎県	北川町
	香花滝	宮崎県	北川町
	香花滝	宮崎県	北川町
	森谷観音滝	宮崎県	北川町
	二股二段滝	宮崎県	北方町
	行勝の滝	宮崎県	延岡市
	那智の滝	宮崎県	延岡市
	観音滝	宮崎県	高千穂町
	土々呂滝	宮崎県	高千穂町
	竜ガ岩屋の滝	宮崎県	高千穂町
	竜宮滝	宮崎県	高千穂町
	鳴滝	宮崎県	高千穂町
	真名井の滝	宮崎県	高千穂町
	玉垂の滝	宮崎県	高千穂町

出典：第3回自然環境保全基礎調査 自然景観資源調査報告書「日本の自然景観 九州版」より

表2-3-1(3) 五ヶ瀬川流域内のすぐれた自然景観

自然景観資源名	名称	県	関係市町村
滝	蛇ヶ淵の滝	宮崎県	高千穂町
	宇土内滝	宮崎県	北方町
	轟滝	宮崎県	五ヶ瀬町
	八戸観音滝	宮崎県	日之影町
	滝下の滝	宮崎県	北方町
	布引滝	宮崎県	北方町
	鶴ノ子滝	宮崎県	五ヶ瀬町
	うげの滝	宮崎県	五ヶ瀬町
	親白滝	宮崎県	五ヶ瀬町
	子白滝	宮崎県	五ヶ瀬町
	観音滝（藤河内）	大分県	宇目町
海岸景観 溺れ谷	北浦 - 延岡海岸	宮崎県	延岡市、北浦町
	島浦島海岸（日豊海岸）	宮崎県	延岡市
	遠見山半島海岸	宮崎県	延岡市
砂浜・磯浜	方財町海岸	宮崎県	延岡市
	長浜海岸	宮崎県	延岡市
	新浜町海岸	宮崎県	延岡市
砂嘴	方財町砂嘴	宮崎県	延岡市
砂州	浦尻湾砂州	宮崎県	延岡市
	東浜砂町砂州	宮崎県	延岡市
	新浜町砂州	宮崎県	延岡市
砂丘	長浜砂丘	宮崎県	延岡市
	新浜町海岸砂丘	宮崎県	延岡市
海食崖	宇土崎海崖	宮崎県	北浦町
	遠見山牧場海崖	宮崎県	北浦町
	斗拵崎海崖	宮崎県	北浦町
	赤水岬海崖	宮崎県	延岡市
波食台	平磯波食台	宮崎県	北浦町
岩礁	芋の子礁	宮崎県	北浦町
	西礁	宮崎県	北浦町
	かり礁	宮崎県	北浦町
	横島岩礁群	宮崎県	北浦町
	烏帽子礁一平礁	宮崎県	北浦町
	耳ほげ礁	宮崎県	北浦町
	投石礁	宮崎県	北浦町
	むら礁	宮崎県	北浦町
	沖ノ子島岩礁群	宮崎県	延岡市
	二子礁一立礁	宮崎県	延岡市
	丸山礁	宮崎県	延岡市
	難礁	宮崎県	延岡市
海食洞	耳ホゲ	宮崎県	北浦町
	千貫の目	宮崎県	延岡市
	潮吹	宮崎県	延岡市
	くらかけ	宮崎県	延岡市
	はなぐり	宮崎県	延岡市
その他 上記以外の際立った地形	河岸段丘状台地	宮崎県	高千穂町、五ヶ瀬町

出典：第3回自然環境保全基礎調査 自然景観資源調査報告書「日本の自然景観 九州版」より

表2-3-1(4) 五ヶ瀬川流域内のすぐれた自然景観（名選・他）

名称		所在地	概要
日本の滝百選	行藤の滝	宮崎県：延岡市	・花崗岩と原生林の行藤山。その雄岳・雌岳が相寄るところに76.6mの高さを誇る雄大な滝。別名「矢筈の滝」ともいう。
	真名井の滝	宮崎県：高千穂町	・太古の昔より湧き続ける石清水が高千穂峡に注ぐその姿は、渓谷の中でも圧巻。神話の里・高千穂が故にどことなく神秘的な雰囲気を持つ滝で、落ちる水が風を誘い、ボートで近づくると涼しさは格別。
美しい日本のむら景観百選 （農林水産省）	戸川地区	宮崎県：日之影町	・「石垣の村」戸川では、畳一枚ほどの巨岩と樹木で作ったコロやテコを利用し、嘉永から安永年間に築かれた石垣を大切に保存している。
水の郷百選 （国土交通省）	延岡市	宮崎県：延岡市	・豊富な水資源は化学繊維工業等の需要に対応し、県内一の工業都市を形成しており、五ヶ瀬川の「鮎やな」、「イカダ下り」、さらに水神さん祭り、流れ灌頂などの伝統行事も伝承され、水とみどりと活力のあるまちづくりを目指している。また、岩熊井堰等の古くからの利水施設も適切に保存・利用されている。
日本の棚田百選 （農林水産省）	尾戸の口	宮崎県：高千穂町	・棚田の形状的な美しさ。周辺地域を含んだ農村風景としての美しさが特徴。
	栃又	宮崎県：高千穂町	
	徳別当	宮崎県：高千穂町	
	石垣の村	宮崎県：日之影町	・急峻な棚田のほとんどが石積みで姿が美しい。また、観光エリアの中心に位置し、深い森林と清流、そそり立つ奇岩、新緑と紅葉はみごとな渓谷美をみせてくれる。 ・宅地、石蔵、防風垣等村全体が石垣で作られ独特の雰囲気をかもしている。一番古い石垣は嘉永から安政年間に築かれたとされ村人全体が石工であったといわれている。小さい石と巨岩を自在に組み合わせた建造物は代々の村人の芸術作品であり文化遺産である。
	鳥の巣	宮崎県：五ヶ瀬町	・宮の原集落が三ヶ所神社や浄専寺等の神社仏閣を管理する集落であるため、冠 婚葬祭等について、昔からの伝統文化を継承している。特に三ヶ所神社と浄専 寺の間にある三ヶ所用水路の開設当時の先駆者の後藤寅五郎氏の胸像は、先人 達の偉業を後世に伝えている。
	下の原	宮崎県：五ヶ瀬町	・近傍のサイフォン施設を含んで、面的な棚田と線的な施設の織りなす景観を呈しており、棚田公園の整備等の構想もある地区である。 ・伝統文化の維持保全：内の口集落に金比羅さん、お大師さん、お地藏さん祭り等の祭事等が多く、非常に地域文化を大切にしている地域である。ふるさと水と土保全活動等において子供たちへの研修の場としても利用されている地域でもある。
日蔭	宮崎県：五ヶ瀬町	・九州島発祥の地と言われる祇園山をバックに下流域の集落と共に山間部の棚田の風景を呈している。 ・水源にある妙見神社や地域の活性化施設である「水の館」を中心に祇園神楽の伝承や近傍の自然を活かした「もみじ祭り」で文化の維持・保全活動を図っている。	

出典：「2001年版 宮崎県観光要覧」「熊本県地域振興局ホームページ」「国土交通省ホームページ」「農林水産省ホームページ」等より

表2-3-1(5) 五ヶ瀬川流域内のすぐれた自然景観（名選・他）

名称		所在地	概要
熊本名勝百景	高森峠	熊本県：高森町	・南郷谷が一望できる。荒々しく男性的な根子岳が目の前に見える。
	らくだ山公園展望所	熊本県：高森町	・熊本名勝百景第1位の大パノラマ、根子岳が展望できる。
雲海	国見ヶ丘、四季見原、烏帽子岳（見所）	宮崎県：高千穂盆地一帯	・秋の快晴、無風の冷え込んだ朝、高千穂盆地は雲海に覆われる。見頃は日の出前後で、初冬頃まで見ることができる。
風穴（祖母山）	祖母山麓	宮崎県：高千穂町 大字五ヶ所	・風穴とは、山の斜面に生じた横穴で、夏季には穴の内壁全体に結氷が見られ、自然の大氷庫をなすものをいう。祖母山の風穴は、北谷登山口から約1km入り込んだ、標高1,300mの所にあり、ちょうど断崖の下部になる。高さ3mにも及ぶ四畳敷大の大岩が、蓋のように入り口をふさいだ空間になっている。入り口から氷室までの距離は約30mで、中からは夏季の間中、常に冷気がでてくる。
水源	妙見の水（水の館）	宮崎県：五ヶ瀬町 鞍岡	・九州発祥の地 祇園山の麓から湧き出る大量の出水は小谷をつくり、名水とされている。「四億年の雫」といわれ親しまれている。
	舟の口水源	熊本県：蘇陽町 長崎	宮崎県五ヶ瀬町との県境にある湧水。五ヶ瀬川と合流し渓谷美を誇る蘇陽峡の源となる。熊本名水百選。

出典：「2001年版 宮崎県観光要覧」「熊本県地域振興局ホームページ」「国土交通省ホームページ」「農林水産省ホームページ」等より

(2) 文化財

五ヶ瀬川流域には歴史的に重要な文化財、史跡が多く、下表に示すとおり国指定で12件、県指定で15件の文化財がある。

表2-3-21) 五ヶ瀬川流域内文化財一覧表(国指定)

番号	種別	名 称	所 在 地	指定年月日
	特天	カモシカ	祖母傾山国有林内外(位置を特定せず)	S31. 2.15
1	重文	鉄造狛犬(一対)	宮崎県:高千穂町(高千穂神社)	S46. 6.22
2	重無	高千穂の夜神楽	宮崎県:高千穂町	S53. 5.24
3	重無	五ヶ瀬の荒踊	宮崎県:五ヶ瀬町	S62. 1. 8
4	史跡	南方古墳群	宮崎県:延岡市	S18. 9. 8
5	名天	五ヶ瀬川溪谷(高千穂峡)	宮崎県:高千穂町	S 9.11.10
6	天	祝子川のモウソウキンメイ竹林	宮崎県:北川町	S45. 8.11
7	天	柘の滝鍾乳洞	宮崎県:高千穂町	S 8. 2.28
8	天	田原のイチヨウ	宮崎県:高千穂町	S26. 6. 9
9	天	下野八幡宮のケヤキ	宮崎県:高千穂町	S26. 6. 9
10	天	下野八幡宮のイチヨウ	宮崎県:高千穂町	S26. 6. 9
11	天	七折鍾乳洞	宮崎県:日之影町	S 8. 2.28
12	名勝	比叡山および矢筈嶽	宮崎県:北方町・日之影町	S14. 9. 7

(凡例) 重文:重要文化財 重有:重要有形民族文化財 無民:無形民族文化財
 重無:重要無形民族文化財 重:重要無形文化財 有文:有形文化財
 天:天然記念物 名天:名勝天然記念物



鉄造狛犬(一対)【国指定重要文化財】

(宮崎県高千穂町)

鎌倉時代後期の作と思われる。鑄造の故もあって、狛犬の類型的な形にとらわれず、たくましく、力強い像形をしている。鑄造狛犬の作例は全国的にもまれである。

写真:パンフレット「神話の里 歴史とのふれあい」(高千穂町コミュニティセンター)より



高千穂の夜神楽

【国指定重要無形民俗文化財】

(宮崎県高千穂町)

岩戸神話を舞踏化した33番の神楽が、毎年11月下旬から2月上旬にかけて高千穂地方の集落内に夜を徹して舞われる。

写真：高千穂町のホームページより

五ヶ瀬の荒踊 【国指定重要無形民俗文化財】

(宮崎県五ヶ瀬町)

三ヶ所神社の秋祭に古例にならって奉納され、その翌日、坂本城址と中登神社で踊られる。踊りは戦国時代の武者装束をつけた勇壮なもので60人の員数を要する。

写真：パンフレット「森の歌」(五ヶ瀬町企画商工課・五ヶ瀬町観光協会)



七折鍾乳洞 【国指定天然記念物】

(宮崎県日之影町)

総延長140mにおよび、鍾乳石、石筍、石柱、石幕等のほかに菊花状の方解石の放射晶群を有している。

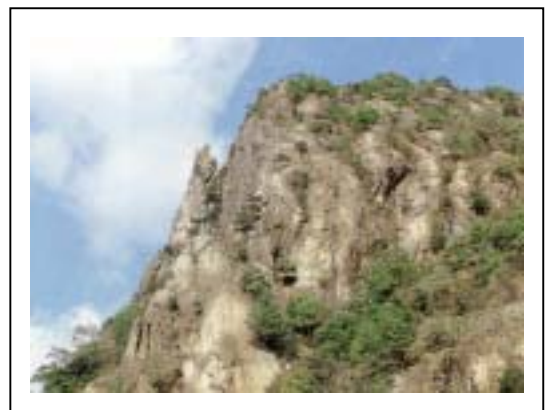
写真：パンフレット「ふるさとの文化財」(日之影町教育委員会)より

比叡山および矢筈嶽【国の名勝】

(宮崎県北方町、日之影町)

五ヶ瀬川の支流・綱の瀬川の峡谷を介して比叡山と矢筈岳が相對している。花崗斑岩脈中の雄大な連峰で、断崖絶壁の間に松、楓、つつじなどが生育し絶景である。

写真：日之影町教育委員会



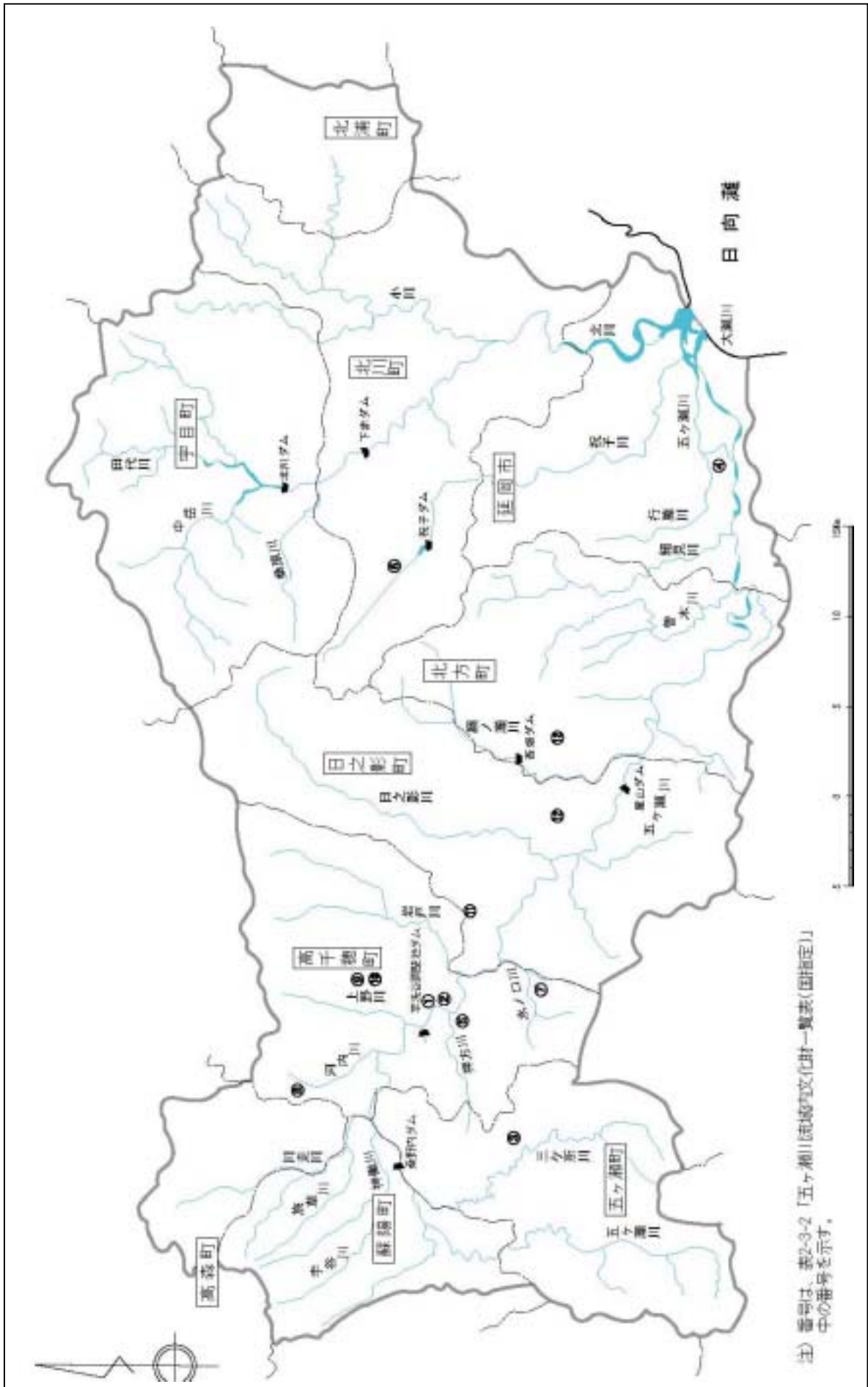


図2-3-1 五ヶ瀬川流域内 国指定文化財位置図

表2-3-2(2) 五ヶ瀬川流域内文化財一覧表(県指定)

種別	名称	所在地	指定年月日
有文	鉄 鱒 口 (一 口)	宮崎県：延岡市(行藤神社)	S40. 8.17
有文	鍍 銀 蓮 池 文 華 鬘 (二面)	宮崎県：延岡市(三福寺)	S40. 8.17
有文	石 造 六 地 蔵 幢	宮崎県：延岡市(内藤記念館)	S40. 8.17
有文	横 穴 墳	宮崎県：日之影町	
有文	円 墳	宮崎県：日之影町	
有文	石 棺	宮崎県：日之影町	
有文	男神像及び女神像(四躯)	宮崎県：高千穂町(高千穂神社)	S34. 7.10
有文	石刻門守神像(二面)	宮崎県：五ヶ瀬町(三ヶ所神社)	S40. 8.17
有文	塩見太師庵宝塔	大分県：宇目町	S51. 3.30
重有	切支丹柄鏡	大分県：宇目町	S34. 3.20
無民	柚木野人形	宮崎県：高千穂町	S37. 5.15
無民	大人歌舞伎	宮崎県：日之影町	
重無	千束楽	大分県：宇目町	S41. 3.22
史跡	南州翁萬居跡	宮崎県：北川町	S 8.12. 5
史跡	吉野朝勤王家芝原又三郎の墓	宮崎県：高千穂町	S 8.12. 5
史跡	陣内遺跡	宮崎県：高千穂町	S51. 3.26
史跡	後曾木古墳	宮崎県：北方町	S12. 7. 2
史跡	高畑赤立遺跡	熊本県：蘇陽町	H10. 3. 11
史跡	重岡キリシタン墓	大分県：宇目町	S34. 3.20
天	アカウミガメ及びその産卵地	宮崎県：延岡市(宮崎市,日南市)	S55. 6.24
天	福寿草自生地	宮崎県：高千穂町	S 8.12. 5
天	白岩山石灰岩峰植物群落	宮崎県：五ヶ瀬町	S17. 6.23
天	浄専寺のシダレザクラ	宮崎県：五ヶ瀬町(浄専寺)	S40. 8.17
天	宇目の野生桐	大分県：宇目町	S34. 3.20
天	鷹鳥屋山の自然林	大分県：宇目町	S60. 3.29
名勝	那智の滝	宮崎県：延岡市	S12. 7. 2
名勝	行藤山	宮崎県：延岡市	S32.12.15
名勝	藤河内溪谷	大分県：宇目町	S34. 3.20

(凡例) 重文：重要文化財 重有：重要有形民族文化財 無民：無形民族文化財
 重無：重要無形民族文化財 重：重要無形文化財 有文：有形文化財
 天：天然記念物 名天：名勝天然記念物



アカウミガメ及びその産卵地

【県指定天然記念物】

(宮崎県延岡市)

長浜海岸の一部(約3.8km)が、アカウミガメ及びその産卵地として指定されている。延岡市では平成3年の74頭をピークに減少し、現在では30頭ほどの上陸しか見られなくなっている。

写真：「延岡市の文化財」(延岡市教育委員会)より



行藤山【県指定名勝】

(宮崎県延岡市)

祖母傾国定公園に属す標高約830mの山で丹助嶽、比叡山、茶臼山と続いている。絶壁がそそり立つ雄岳、雌嶽と呼ばれる2つの岩峰からなり、この遠望が狩猟や騎乗の際着用した装束である行藤の形に似ていることから行藤山と呼ばれた。

写真:「延岡市の文化財」(延岡市教育委員会)より



千束楽【県指定重要無形文化財】

(大分県宇目町)

毎年9月の第3土曜と日曜日に千束の鷲野尾神社祭礼の時に奉納される。宇目郷最古の360年歴史を持つ民俗芸能。

写真:「2000宇目町町勢要覧」(宇目町)より



浄専寺のシダレザクラ【県指定天然記念物】

(宮崎県五ヶ瀬町)

浄専寺境内にあるしだれ桜は、樹齢250年を越えており、毎年3月下旬から4月上旬が見ごろとなっている。

写真:パンフレット「神話・伝説の道」(「神話・伝説の道」関係市町村連絡会議)より

2 - 4 . 自然公園等の指定状況

五ヶ瀬川流域は、自然環境に非常に恵まれており、3の国定公園と2つの県立自然公園の指定を受けているとともに、以下のように鳥獣保護区も指定されている。

また、流域内の都市計画は延岡市と高千穂町にあり、高千穂町の都市計画は街路事業となっている（図2-4-3参照）。

表2-4-1 自然公園一覧表

種別	公園名	流域内 関係市町村	指定年月日	備考
国立・ 国定公園	祖母・傾 国定公園	大分県：宇目町 宮崎県：延岡市、 北方町、北川町、 高千穂町、日之影町、 五ヶ瀬町	S40. 3.25	未開の自然林、多種多様の動植物群の分布、神話伝説の発祥地。
	日豊海岸 国定公園	宮崎県：延岡市、北 浦町、北川町	S49. 2.15	半島と湾、島嶼、断崖のおりなすリアス式海岸の美。
	九州中央山地 国定公園	宮崎県：五ヶ瀬町	S57.5.15	原生林のすぐれた自然景観と豊かな動植物、歴史的文化的資源に富む。
県立 自然公園	矢部周辺 県立自然公園	熊本県：蘇陽町	S32.8.3 S57.5.15削除 H7.7.10再検討	多数の自然景観資源。
	祖母・傾 県立自然公園	宮崎県：延岡市、 北方町、北川町、 高千穂町、日之影町、 五ヶ瀬町	S33. 9. 1	未開の自然林、多種多様の動植物群の分布、神話伝説の発祥地。

表2-4-2 規制状況一覧表

規制項目	関係法令	関係市町
鳥獣保護区	鳥獣保護及び 狩猟に関する法律	大分県：宇目町 熊本県：高森町、蘇陽町 宮崎県：延岡市、五ヶ瀬町、 高千穂町、日之影町、 北方町、北川町
都市計画区域	都市計画法	宮崎県：延岡市、高千穂町

祖母傾国定公園（鉾岳）

写真：パンフレット「北方見聞」（北方町）より



日豊海岸国定公園

写真：延岡市総務課より

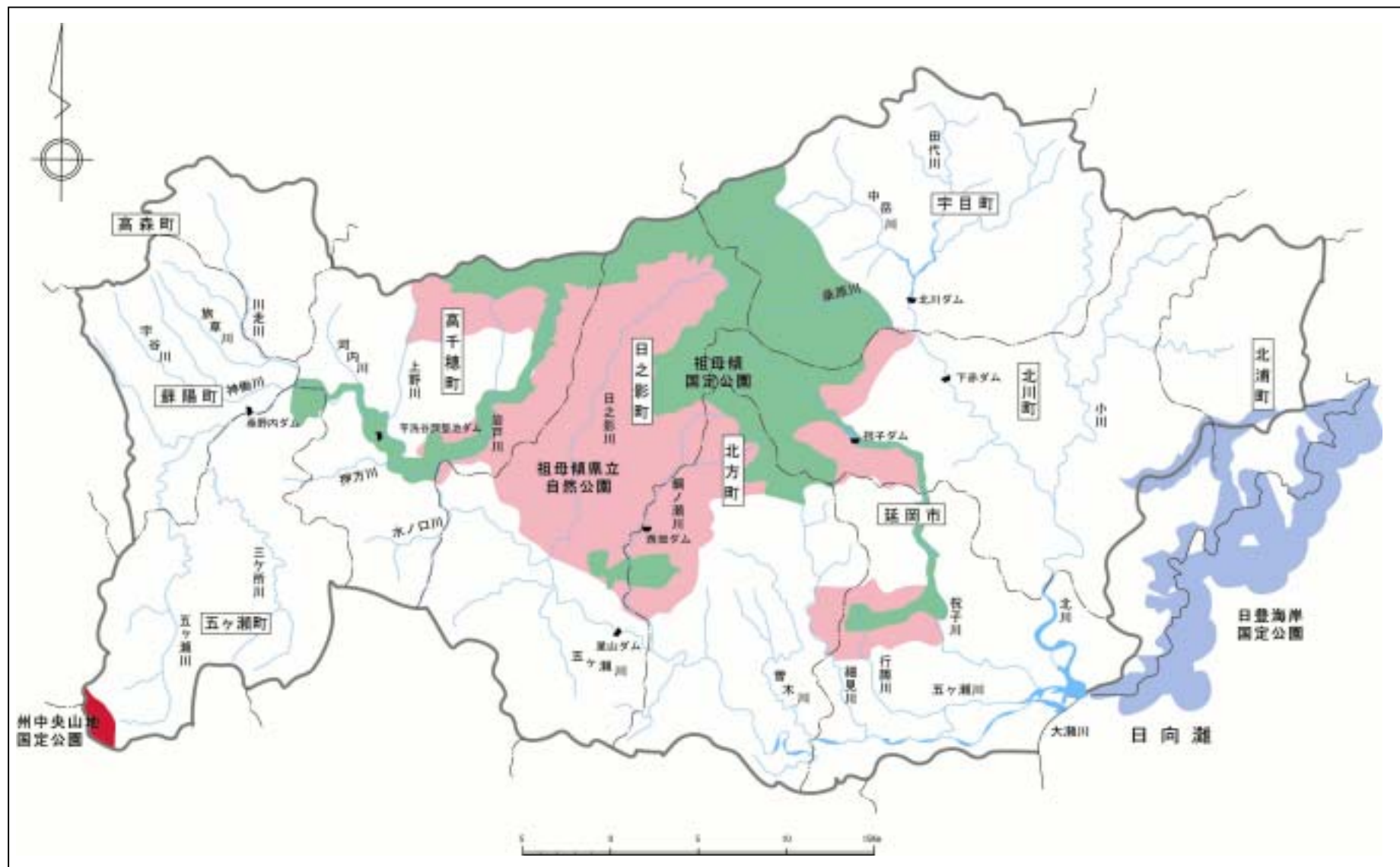


图2-4-1 五ヶ瀬川流域内 自然公園位置図

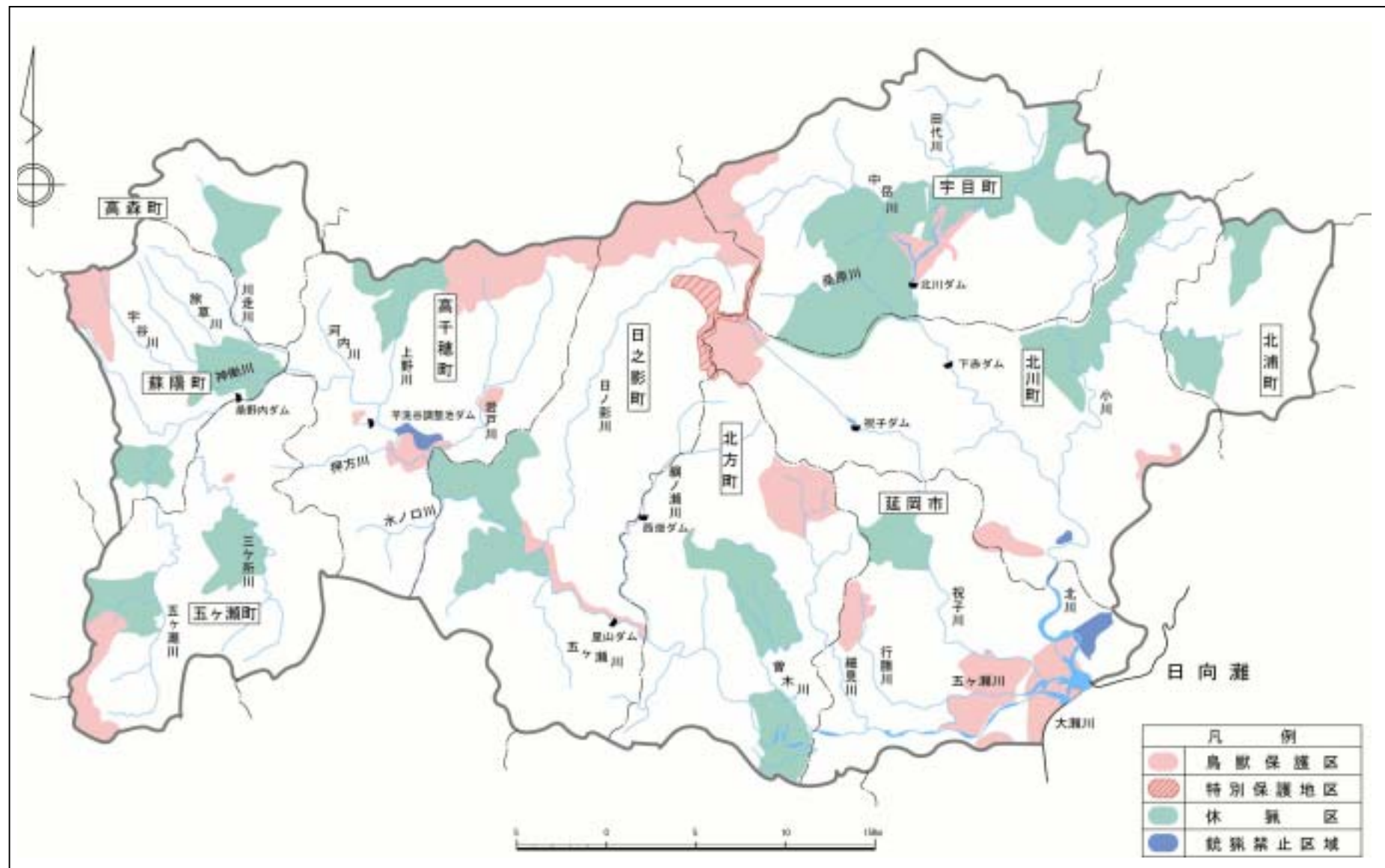


図2-4-2 五ヶ瀬川流域内 鳥獣保護区指定区域

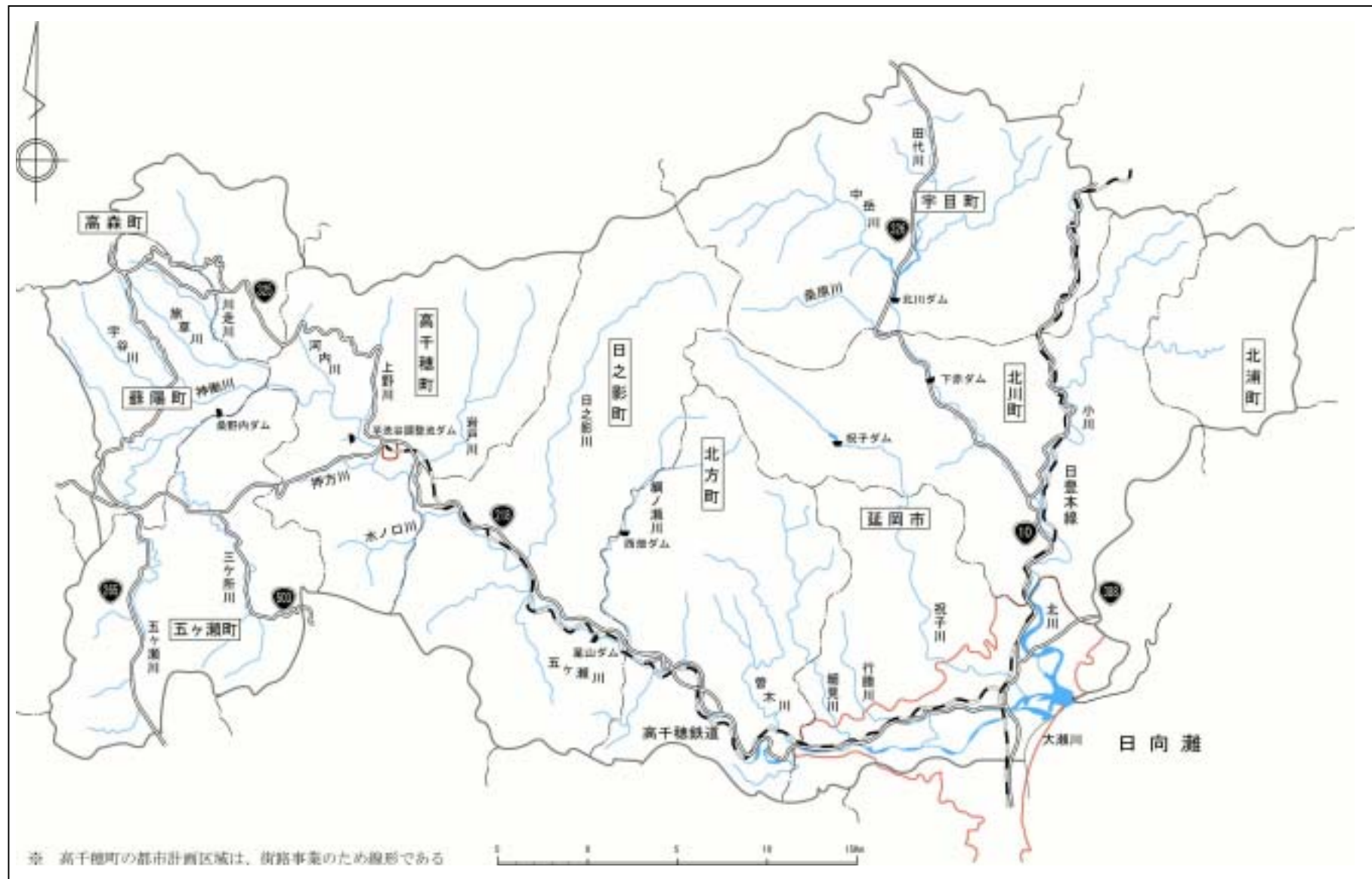


図2-4-3 五ヶ瀬川流域内 都市計画の状況